

令和元年 教育委員会

第 1 7 回 定例会 議事日程

令和元年 1 0 月 1 1 日（金）午後 4 時 1 5 分

第 1 報 告

【 子ども総務課 】

- （1）第 3 回区議会定例会の報告

【 子ども支援課 】

- （1）保育園の入園案内
- （2）年末保育の実施

【 子ども施設課 】

- （1）（仮称）四番町公共施設整備

【 学務課 】

- （1）千代田区立中学校の学校選択状況
- （2）令和元年度インフルエンザによる学級閉鎖の状況

【 指 導 課 】

- （1）令和元年度 東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果
- （2）令和元年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査

第 2 その他

【 子ども総務課 】

- （1）教育委員会行事予定表
- （2）広報千代田（10月20日号）掲載事項

【 子ども施設課 】

- （1）お茶の水小学校・幼稚園の施設整備

【 学務課 】

- （1）令和 2 年度 千代田区立九段中等教育学校 入学者決定に関する実施要綱

令和元年第三回
千代田区議会定例会区長招集挨拶

令和元年第三回
千代田区議会定例会区長招集挨拶

目次

はじめに	1
I 「災害対策」について	2
II 夏の暑さは自然災害レベル 「熱中症予防」について	6
III 未来に向かって区民の生活を支えるために	9
IV 議案	15

＊ 本文は、口述筆記ではありませんので、表現その他
若干の変更があることがあります。

令和元年第三回区議会定例会の開会にあたり、私の区政運営における所信を申し上げます。

はじめに

今年の夏も日本各地で「大雨」や「台風」の被害が発生しました。8月には、梅雨前線と湿った空気の影響で、佐賀県を中心に九州北部に猛烈な雨が降り、浸水や土砂崩れなどによって尊い人命が失われました。家屋や田畑などの甚大な被害も深刻であり、生活再建までの長期化が懸念されているところでもあります。

また、今月初めには「台風15号」が強い勢力を保ったまま関東地方・首都圏を直撃しました。短時間に天候が急変し、猛烈な風雨により交通機関の混乱、大規模停電など都市機能に大きな打撃を

- 1 -

与え、これまであまり注目されてこなかった「風害」に対する事前対策の重要性を認識させられました。

改めて、これらの災害で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

I 「災害対策」について

そこで、まず、災害対策について申し上げます。

この度の「台風15号」に伴う災害をはじめ、近年、気候変動の影響による自然災害のリスクは増大しております。『東京』のような大都市においては、今回のような強烈な台風などによる内水氾濫や交通機関の麻痺、倒木による停電、

- 2 -

通信網の遮断など、さまざまな被害が発生する危険性があります。さらに、「直下地震」がいつ起きてもおかしくない状況にあります。

台風や地震などの発生を防ぐことはできませんが、災害の発生を想定し適切な準備をすることにより、被害を最小限に留めることは可能であります。

そこで、基礎的自治体の役割である、『住民の生命・財産を守る』ために、地域の実態を踏まえ、自然災害による被害を最小限に留めるための具体的・効果的な安全対策を強化する必要があると考えております。

- 3 -

配布するとともに、「広報千代田」やホームページなどを活用し、周知を図っているところでございます。

また、洪水で浸水した際の深さが一目でわかる「浸水深プレート」を区内の浸水想定区域内の公共施設5か所に表示し、「洪水ハザードマップ」の見える化に取り組んでおります。

さらに、大規模な災害から命を守るために、地域の皆さんによる「地区防災計画」や「コミュニティ・タイムライン」の策定をはじめ、各家庭における「マイ・タイムライン」などの作成を支援する取り組みも推進しております。

もとより、過去の災害事例を見ても明らかにように、行政だけで防災・減災を実現することには限界もあります。災害発生時には、自らの命を守る行動とともに、平常時から「自助」による対策が

求められます。また、千代田区で暮らし、活動するすべての方々が相互に助け合い、支え合う「協助」の仕組みも不可欠であります。

それらの仕組みの円滑な運営に向けて支援を継続いたしますとともに、「公助」としての情報収集・発信、関係機関の連携をはじめ、さまざまな取り組みを強化しているところがあります。

加えて、今回の「台風15号」の教訓として、職員の参集体制についても公共交通機関の運行などを考慮した、事前対応の見直しが必要であると考えております。

- 5 -

Ⅱ 夏の暑さは自然災害レベル

「熱中症予防」について

次に、熱中症予防について申し上げます。

気候変動に加え、ヒートアイランド現象により、猛暑や熱帯夜が続き、私たちの日常生活にさまざまな影響を与えております。

高温多湿の日本では、昔から少しでも涼しく過ごすために、いろいろな工夫がありました。しかし、近年、異常ともいえるほどに夏の暑さが厳しさを増しており、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が働かずに、体温上昇、めまい、最悪の場合は命をも脅かす「熱中症」がクローズアップされるようになり、「熱中症対策」関連の新たな商品が次々と発表されている状況です。

- 6 -

●今年も『暑い夏』

総務省消防庁の速報値によれば、7月29日から8月4日までの1週間に「熱中症」によって救急搬送された方は都内だけでも1千857人。1日あたり265人以上にもなり、8月末日までの救急搬送人員は、4千人を超えるなど、猛暑と言われた今年の梅雨明け後1か月の実績と変わらない状況でございました。

- 7 -

気候変動による猛暑という「災害」を防ぐことはできませんが、暑さによる健康被害である「熱中症」を予防することはできます。

区では、「熱中症」予防対策として、今年も区民の方だけではなく来街者も含め、「ひと涼み」を区民の方だけではなく来街者も含め、「ひと涼み」を区民の方だけではなく来街者も含め、『ひと涼みスポット』を区内22か所の公共施設と、13の民間事業所等に設置し、

熱中症予防の啓発グッズを配布して予防の啓発に努めました。

また、高齢になるほど「熱中症」を発症する危険性は高くなり、現に、救急搬送される方のうち、半数以上の方は「高齢者」となっております。

そこで区では、民生・児童委員や町会婦人部の皆さんに、地域の高齢者や障害者の方への「見守り」や「声かけ」をお願いする「地域の見守り」に加え、（10年以上前から）介護保険サービスを利用していない85歳以上の高齢者のみで暮らしている世帯を対象に、保健師や看護師、出張所の職員が個別に訪問をし、「熱中症」の正しい知識と対処方法の助言や体調確認を行いました。

これらの対策が功を奏して、7月1日から8月末日までの千代田区内3消防署において救急搬送された区民の方は、わずか5名と極めて

- 8 -

少ない人数に止めることができました。

このようなきめ細かな対応は、「熱中症」による命の危険を避けるだけではなく、安心して暮らし続けられる千代田区の実現にもつながるものと考えております。

Ⅲ 未来に向かって区民の生活を支えるために

さて、本定例会は、前年度に区が取り組んだ事業について、さまざまな観点からその成果や執行方法等をご検証いただき、それを次年度以降の事業に反映させるための決算議会であります。

本区は、誰もがお互いを尊重し、支え合う「共生社会」とともに「豊かな地域社会」の実現に向け、区民生活を支えるためにさまざまな事業を展開

- 9 -

しております。

平成30年度は、「次世代育成に関する取組み」「保健福祉に関する取組み」「危機管理に関する取組み」「環境対策に関する取組み」を4つの重点事項として掲げ、各種の事業を執行いたしました。

平成30年度の区の仕事に関しては、重点事項の成果、各種事業の執行に関する評価、改善点、課題などについて、本定例会を通じてご指摘いただき、次年度の区政に生かしてまいります。

一方、今後の区政運営にあたっては、中長期的な見通しが重要であり、その中で想定される課題には今から取り組んでいくことが必要となります。

そうした中長期的な課題の1つは、「人口増加への対応」でございます。

我が国は、人類が経験したことのない急激な少子高齢化のただ中にあり、確実に「人口減少」が

進んでおります。その中にあって、本区は少なくとも今後数年間、人口が増加する見込みです。

人口増加に伴い、特に保育園や学校に関するニーズが高まり、子育て基盤の整備や事業量の拡大が見込まれます。また、人口の増加は、災害時対応や扶助費等の事業費が増加する要因になります。人口が増えることに伴う行政需要の質と量の変化に的確に対応していくことが重要であります。

2つ目は、人生100年時代を見据えた高齢者施策です。「長寿化」が進み、高齢者の定義を65歳以上とするのが現状に合わないという指摘があり、年金、医療、介護など社会保障制度の改革が給付と負担の見直しの議論として進められています。

本区では、これまでも、医療保険や介護保険などの既存の制度にとられない区独自の事業を数多く展開し、制度改正に伴う区民生活への影響を

緩和してまいりました。社会保障制度の改革に伴い、新たな独自の施策が必要になることも考えられます。

また、一人ひとりの高齢者の生活支援やお亡くなりになられた場合の葬儀や財産の処分、ペットの問題に至るまで、かつては家族の問題とされていたことを、社会全体で解決していかなければならない時代になってきております。

「ひとり暮らし高齢者」「認知症高齢者」の増加は行政だけでは対応しきれず、区民の皆さんとともに解決策を見出していかなければならない問題が大幅に増加していくものと考えております。

行政が、孤立する高齢者の方をはじめ、ひきこもりの方の相談・支援など、どのように、どこまで具体的な支援をするかが今後の大きな課題となっております。

3つ目としては、人口増、超高齢社会等の社会

状況の変化に対応するための公共施設等の維持・更新であります。

学校や区営住宅の改築、道路や公園の改修整備など、今後、機能更新の時期を迎える区有施設やインフラ施設は多数あり、多額の経費が必要となります。

4 つ目は、災害対策における新たな課題への対応であります。

先日の「台風15号」は、計画運休による公共交通機関の麻痺や千葉県内を中心とした大規模停電など、新たな課題を認識させるものであります。さらに、従来から本区の災害対策の大きな課題である昼間人口を対象とした災害対策についても中長期的な視点からの備えを確かなものにする必要があります。

5 つ目は、中長期的に財政需要の増大が見込まれ

- 13 -

る一方で、国の不合理な税制改正による減収が懸念されることでもあります。

近年の大都市の財源を地方へ再配分するための税制改正により、本区は多額の減収という大きな影響を受けてきましたが、今後もこのような動きが続いていく可能性がありますので、それに備える必要があります。

今定例会でご報告いたします財政状況は、実質公債費比率、将来負担比率などの財政指標においては、すべて健全な値となっております。基金も平成30年度末時点で、約1千150億円であり、現時点では健全な財政基盤ではあります。しかしながら、これまで申し上げたような中長期的な課題に対応していくためには、必ずしも楽観視できる状況ではないと考えております。

本区が今後も、「共生社会」、「豊かな地域社会」

- 14 -

の実現に向け、子どもや高齢者、障害者の方々に「やさしいまち」であり続けるために、現時点における健全な財政指標値や基金残高に決して満足することなく、将来に亘って安定的、継続的な区政運営を行うことのできる強固な財政基盤の確立をめざし、さらなる努力を重ねてまいります。

IV 議案

最後に、今回提案いたしました諸議案等についてでございます。

まず、決算案件といたしまして、

●平成30年度各会計歳入歳出決算の認定についてでございます。

次に、条例関係でありますが、

- 15 -

●新たに制定するもの、1件、

●条例の一部を改正するもの、9件の、計10件であります。

次に、契約関係でありますが、

●区立お茶の水小学校・幼稚園解体工事請負契約について、1件、

●代官町通り歩道拡幅工事請負契約の一部変更について、1件の、計2件であります。

このほか、

●千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について、1件。

また、報告関係として、

●平成30年度財政健全化判断比率について、1件、

- 16 -

●代官町通り歩道拡幅工事請負契約の一部を専決
処分により変更した件について、1件、

●公の施設を利用する権利に関する処分について
の審査請求について、1件の、計3件で、

●今回の付議案件は、合わせて17件であります。

何とぞ、慎重なご審議の上、原案どおり
ご議決賜りますようお願いを申し上げます。

以上をもちまして、令和元年第三回区議会
定例会の開会の挨拶といたします。

ありがとうございました。

発言通告書（総括表）

教育委員会資料
令和元年10月11日
子ども総務課

令和元年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	林議員 (自民)	平成30年度決算審査にあたり 子育て環境の整備に向けて 障害者施策について	継続審査となった昨年度の経緯経過を踏まえた対応 区長の決算審査に向けての姿勢 石川区政18年8か月の総括と残された任期1年4か月 東郷元帥記念公園の早期全面開園について 子どもの水遊び、外遊びについて 子ども施設の暑さ対策について 障害者福祉センターえみふる 障害者よろず総合相談MOFCA（モフカ） 今後の障害者施策の展開について	区長 教育長 関係理事者
2	木村議員 (共産)	防災対策について 地球温暖化対策について 公共施設の整備と運営について	（1）地震学者は共通して東京一極集中の是正を首都防災の要と強調している。この地震科学の知見を都市計画に反映させよ。 （2）災害対策基本条例の改正を求める。①過度な都市化の是正を区の基本的責務に位置付けること。②行き過ぎた「自助・共助」論の見直し。 （3）事前対策として①建築物の耐震化支援の強化②家具転倒防止取り付け工事助成の復活と拡充③エレベーター閉じ込め対策の強化 （1）国に対して、温室効果ガス削減目標の思い切った引き上げ、石炭火力発電の新規建設中止と既存施設の計画的廃止、原発ゼロを働きかけよ。 （2）地球温暖化対策条例が定めた二酸化炭素の排出量削減目標の達成は困難。その理由は「業務部門では建物の床面積の増加」である（「地域推進計画」）。本気で排出量を削減しようとするればオフィス床面積の増加をもたらす規制緩和政策の見直しは避けられないのではないかな。 （1）四番町公共施設整備の関連経費は、総額で実に144億円にのぼる。住民合意がなく、耐震上も問題のない図書館・区営アパート棟の建替えは見送るべき。住民と関係者が合意している区営住宅・児童館・保育園・集会室棟のみの建替えに変更すべきではないか。 （2）図書館・文化財行政について	区長 教育長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 代表質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
3	米田議員 (公明)	災害対策について がん教育について	今夏も「大雨」や「台風」による被害が発生した。 8月には九州北部に、9月初めには台風15号が首都圏を直撃し甚大な被害が起きた。 ①千代田区の被害状況は。 ②毎年の災害のたびに新たな課題が浮き彫りになり対策を見直していく必要がある。そこで、本年起こったさまざまな災害での課題について、どのように検証し、今後、どのように見直していくのか区の基本的な考え方を伺う。 ③交通機関の麻痺による計画運休、倒木や集中豪雨などによる、停電、通信網の遮断や道路の寸断、陥没などの対策が急務と考える。ご所見は。 ④これらの災害に対しての新たな防災訓練が必要と考える。ご所見は。 日本人の2人に1人はがんになるといわれる。 子供達が、がんとがん患者に対する理解を深め、命の大切さを伝える「がん教育」が重要と考える。 ①これまでの本区の取り組みについて伺う。 ②全ての小中学校で医師や経験者などによる外部講師を招いての「がん教育」を行うべきと考える。ご所見は。	区 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
1	嶋崎議員 （自民）	障害児ケアプランについて	1、医療関係をはじめ、学校や保健福祉部の窓口等横断的に連携と相談体制はどのように なっているのか 2、発達障害児（軽度）はさくらキッズで対応しているが重度の障害児を持つ親へのサービ スはどのようにしているのか対策が必要ではないか 3、妊娠期から18歳まで切れ目のない対応が必要で親亡き後の自立の対策はどのように なっているのか 4、今年度障害児ケアプランの現時点での取り組み状況と今後の見込み（詳細に）について 伺う	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	永田議員 （自民）	風評被害対応について 街路樹管理について	発災後の風評による被害が復旧、復興の妨げとなっている。平時より防災、減災の一環と しての風評対策を求める。 街路樹管理は景観だけでなく安全対策も重要である。台風15号の暴風によって多数の倒 木被害が出ている。安全の視点からの街路樹管理について本区の方針を問う。	区 長 関 係 理 事 者
3	内田議員 （自民）	1. 都市特性評価について 2. 基金について	①千代田区独自の都市特性とは ②都市特性評価を都市政策に活用すべき ①基金残高と適正規模について ②基金の再編成後の活用と活用基準は ③災害対策基金の拡充を求める	区 長 関 係 理 事 者
4	河合議員 （自民）	千代田区のギフテッド教育の 現状と方向性、今後の本区にお ける取り組み方針を問う。	千代田区におけるギフテッド教育の現状、教育研究所や白鳥教室での対応と役割、今後の 方向性、また、将来に向けて本区としての戦略的な取り組みなど、本区の考え方を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	大串議員 (公明)	1. 幼児教育・保育の無償化にあたって 2. 基幹系システムの更新について	1) 区はどのような幼児教育・保育を展開しようとしているのか、基本的な考え方を問う。この度の無償化を機に、区の目指す幼児教育・保育の考え方、あり方を広く区民と共有してはどうか。 2) 乳幼児の保育と教育について、区として果たすべき役割は。あくまで区の役割としては、児童福祉法第24条第1項、市町村の保育の実施を基本とすべきと考える。区（子ども部また教育委員会）の见解を問う。 3) 乳幼児の教育・保育の質の確保と向上について ①乳幼児の保育と教育の質とは何を指すのか。また、次世代育成支援計画（子ども・子育て支援事業計画）の更新と合わせて「就学前プログラム」を更新してはどうか。 ②乳幼児への保育と教育の一体的な提供について、区の考え方を問う。また今後の方向性は。 ③子育て支援員の役割と今後の配置は。 1) 基幹系システムの更新について、その概要と今後のスケジュールは。 2) 千代田区では、平成14年3月に千代田区情報化指針を策定したが、その後、ICT環境の変化や技術の大幅な向上、そしてマイナンバー制度など国の制度も大きく変化した。そこで、改めて区の基本的な考え方としての千代田区情報化指針の更新を提案する。所見は。 3) 基幹系システムの更新となれば全庁一丸となって進める必要がある。そこで「基幹系システム更新実施計画書」の策定を提案する。所見は。 4) RFP 作成支援について RFP 作成について、どうしても支援が必要な場合、どう支援を進めるのか。また、その際の注意点は。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
6	小枝議員 (声)	1、マンション再生支援策拡充の必要性・緊急性について 2、地域別まちづくり意見交換会の必要性について 3、屋上菜園の検証と推進について	①千代田区では、マンション戸数が増え続け、更新するには2倍前後の容積が必要になります。マンション増を促進している背景は何。すでにマンションの量的拡大に限界がきていること、小学校さえもパンクしていることについて認識は。 ②これに対し何らか有効な手立てを講じる必要性の認識は。あるとすればどのような方法が考えられるか。 ③容積緩和型建替え以外の選択肢も必要。代替え策として、リノベーションによるマンション再生への誘導策を講じるお考えは。 ④区内民間マンションを必要数借り上げ、リノベーション再生を行おうとする方々に「仮住まい提供」を行なってはどうか。 ⑤容積率の消化状況により、土地にかかる固定資産税を軽減するよう、東京都、関係機関に働きかけてはどうか。他	区 長 関 係 理 事 者
7	長谷川議員 (紡ぐ会)	・千代田区で排出されるごみの回収・廃棄物処分について ・ちよだみらいプロジェクトの施設整備計画、万世会館・清掃事務所機能更新のための施設整備について	・「あおぞらふれあい相談・回収」の定期的実施 ・最終処分場である埋立地が利用できなくなった時に備え、千代田区におけるごみ処分の現状と未来の取組みについて ・自然災害時の廃棄物一時置き場について ・施設整備のために業務を止めることができない、万世会館と清掃事務所の利便性向上と機能更新のための施設整備について、ちよだみらいプロジェクトの進捗状況と、今後の見通しを問う	区 長 関 係 理 事 者
8	うがい議員 (自民)	道路や歩道の機能更新 安全利用と高度利用について	・道路および歩道の沈下、陥没、隆起による変形が見逃されている ・交通利用の変化に合わせた空間再配分 ・コミュニティ醸成における歩道、道路といったグランドレベルの重要性	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
9	池田議員 (自民)	・食品ロスに対する千代田の 取り組み	・食品ロス削減推進法が成立、本区の取り組みは進んでいるのか。 ・学校給食を含め教育委員会での方針は。 ・飲食店向けに食品ロス削減に協力を求めるような働きかけを。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
10	西岡議員 (自民)	災害時に於ける対応について	・防災備蓄 ・女性、子供への災害対応について ・ハザードマップについて	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
11	桜井議員 (自民)	○千代田区役所本庁舎の PFI 事業について ○選挙における事務効率化に ついて	○本区はどのような経緯をもって国と共に PFI 事業を進めてきたのか ○来年度末を期限として PFI 事業による維持管理業務を行ってきた成果はどうであったのか。 ○国との合築や SPG との運営など開設当初からの課題についてはどうであったのか ○PFI 事業終了後についてはどのような対応をとっていくのか ○千代田区が行っている選挙システムの課題と認識について ○従来の入場整理券との符合に代えて、バーコードを活用したシステムの導入をしてはどうか ○投票率の向上のために投票結果をどのように分析するか ○国が示す電子投票について区の見解を問う	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
12	たかざわ議員 (自民)	1 本区における「地域ケアシステム」の進捗状況はいかに 2 地方によって行政では対応できない課題に苦慮している現状がある。本区も対応を考える必要があると思うがいかに	区内の病院から在宅介護に移行した際、訪問看護から訪問診療、薬局に至るまで他区からの業者が担当している事例がある。かがやきプラザ(高齢者サポートセンター)建設時に、目玉とされた訪問看護ステーションは区内事業者を圧迫するという理由から断念したとの説明があった。本区の地域包括ケアシステムは広域連携となっているのか。本区の現状を問う。 各地でゴミ屋敷・空き家問題・餌やりなど条例がないために各課題に対応ができず、近隣の不満や苦情がたまっている。本区では表面化こそしていないが、課題解決の対応を考えておくべきだと思うが、区の方考え方を問う。	区 長 関 係 理 事 者
13	岩田議員 (立民)	学校における動物飼育について プラスチックごみについて	動物虐待ではないかとの意見がある中でもなお、学校で動物を飼育する意義と今後の区への対応について 世界規模の課題であるプラスチックごみ問題。区として何か出来る事は。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
14	牛尾議員 (共産)	消費税増税と零細業者、個人商店への支援について 住宅施策について	①消費税の10%への引上げは区民のくらしのみならず、区内の零細業者や個人商店にも大きな負担。増税の影響を区長はどのように思っているのか、認識を聞く。 ②消費不況が続く中、苦境に立たされている零細業者や個人商店の声を区が聞くことを求める。 ③地域のコミュニティの支え手である商店への支援の強化を求める。 ①高齢者が心配や不安なく住み続けられるように住宅への支援の拡充などを求める。 ②公共住宅について、入居時の「連帯保証人」の規定を無くすことなどを求める。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
15	飯島議員 (共産)	投票率向上のために	民主主義の根幹である選挙の投票率が低くなるばかりで危惧される。 選挙管理委員会をはじめ、区、教育委員会などが、政治的リテラシーを育成する取り組みを年齢に応じて行うことを求める。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
16	小野議員 (都ファ)	1、東京2020大会レガシーとして、千代田区役所内における働き方改革の推進を 2、区の計画、情報などを区民に広く知られるような工夫を	東京2020開催期間中の移動人口大幅増を見込み、スムーズビズが推進されている。これを機に東京2020大会以降も継続可能な働き方改革を推進する企業、官公庁が増えているが千代田区役所の方向性はどうか。 区民の方から寄せられる声に、それはいつ決まったのか？なぜ事前に知らされないのか？などご意見がある。具体が決定するまでの大まかなプロセスの開示、該当する近隣住民への情報提供のタイミングや手段など工夫が必要ではないかと考えるがどうか。	区 長 関 係 理 事 者
17	岩佐議員 (立憲)	1. アプリを活用したコミュニケーション支援について 2. プライバシーに配慮した行政窓口について	音声を認識し、文字化するアプリが注目を浴びている。インクルージョン推進のためのツールとして、活用してはどうか。	区 長 関 係 理 事 者
18	はやお議員 (自民)	1. 医療・介護の確保に向けた取り組み状況について 2. 本区における医療と介護の連携のあり方及び今後の方向性について	団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、地域医療構想のもと医療・介護機能の再編が進められている。そこで、本区におけるその取り組みについて問う。 (1) 地域医療計画を踏まえた本区の役割 (2) 医療・介護の確保に関する本区の将来像と現状・課題 地域包括ケアシステムは、住み慣れたまちでの安心した暮らしを目指し、医療と介護の連携を円滑にする取り組みである。本区における地域の医療及び介護の総合的な確保に向けた取り組みを踏まえ、以下について問う。 (1) 在宅医療等の充実に向けた取り組みの必要性（量的・質的） (2) 医療・介護を確保していくための今後の方向性	区 長 関 係 理 事 者

令和元年第3回区議会定例会 教育委員会関係質問・答弁概要

自民	林 則行 議員	代表質問	1
質問要旨	子どもの暑さ対策について 1 保育園におけるプール遊びを暑さ指数の基準を超えても 何らかの柔軟な対応を行い、予防対策を講じ、行うことはできないか。		
答弁者	子ども部長・教育担当部長		

【子ども部長答弁】

林議員の保育園におけるプール遊びの暑さ対策についてのご質問にお答えいたします。

保育園のプール遊びは、夏季期間中における外遊びに代わる一環として実施しています。しかし、近年猛暑日が続き、熱中症が心配される状態となっております。

園児の健康に配慮しながらプール遊びを実施するため、環境省が示す暑さ指数が基準を超えると、プール遊びを中止する場合があります。

今後もプール遊びを安心・安全に実施できるよう、ドライ型ミストやよしずの設置など、多角的な検討を行い、子どもたちのプール遊びができるよう努めてまいります。

【教育担当部長答弁】

林議員のご質問のうち、子ども施設の暑さ対策について、お答えいたします。

施設整備における暑さ対策の一つとして、議員ご指摘のような遮熱性のある塗装材料の使用があげられます。これには、熱エネルギーを反射させるタイプのものや熱エネルギーを吸収し輻射熱の発生を抑えるタイプのものなどがあります。後者の熱エネルギーを吸収するタイプのものは、「熱交換塗料」と呼ばれており、校庭や広場などでも使われています。当区においても、小学校校庭の改修の際、使用した実績があります。

今後も、学校等の改築や改修にあたっては、様々な暑さ対策を検討し、子ども施設の整備を進めて参りたいと思います。

共産	木村 正明 議員	代表質問	2
質問要旨	公共施設の整備と運営について (1) 四番町公共施設整備について、図書館・区営アパート棟の建替えは見送り、区営住宅・児童館・保育園・集会室棟のみの建替えに変更するべきではないか。		
答弁者	子ども部長		

木村議員のご質問のうち、(仮称)四番町公共施設整備につきまして、お答えいたします。

この事業は、連続して機能更新の時期を迎える2つの隣接した施設を一括して整備し、2敷地を1敷地として有効活用を図ることにより、保育園庭や児童館フロアの拡充と隣地とのオープンスペースの確保を実現すること、また、住宅と非住宅の動線を明確に分離することで、相互のプライバシー・セキュリティを確保し、利便性の向上を図ること、さらには、建替え工事に伴う施設利用者、居住者、近隣の皆様へ配慮した計画とすること、などがあげられます。

区としては、こうした様々な観点を総合的に勘案して、1棟による建替えを提案し、議会で十分にご議論をいただいた上で、決定したものと認識しております。

今後は、その実現に向け、関係住民の皆様に丁寧な説明を行いながら進めてまいります。

公明	米田 かずや 議員	代表質問	3
質問要旨	「がんに関する教育」について ① 本区における「がんに関する教育」についての認識 ② これまで学校教育の中でどのような取り組みをおこなってきたか。 ③ 今後、どのように取り組んでいくか。 ④ 独自の教材や手引書の作成、医療専門家や闘病経験者を招いての授業、また、教職員への研修について		
答弁者	教育担当部長		

米田議員の、「がんに関する教育」のご質問にお答えいたします。

「がんに関する教育」、がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育です。

議員ご指摘のように、がん教育は、単に病気についての知識を学ぶものではなく、命や健康について考えるものであり、学校における健康教育において、今後ますます重要なものとなってくると認識しております。

本区では、がん教育の実施にあたり、小・中・中等教育学校の教員で構成される「体育健康教育推進委員会」を中心に、「がん教育」について研究を進め、研究授業を実施して、全教員を対象に公開するなどしています。本年度は、がん教育に見識の深い大学教授による講演会を実施するなど、引き続き教員への研修を実施して参ります。

今後のがん教育にあたっては、教員だけでなく保護者や地域の理解も深められるよう、あらかじめ各学校の健康教育全体計画に位置付けたうえで、指導計画を立て、教育活動全体を通じて教科横断的に実施して参ります。

また、議員ご指摘のように、がん教育にあたっては、児童・生徒本人が小児がんの当事者である場合、家族にがん経験者がいる場合、家族をがんで亡くした場合などを常に念頭に置く必要があります。こうした配慮が必要な児童・生徒への対応も含め、実践事例を収集したり、配慮の工夫やアイディアを共有したりする取り組みを行うなどし、適切ながん教育を進められるよう努めます。

独自の教材や手引書につきましては、文部科学省から教材が示されておりますので、それを基本に本区の教員の研究成果を踏まえ、がん教育を実施して参りたいと思います。

また、医療専門家や闘病経験者を招いての授業につきましては、文部科学省のガイドラインや、東京都がん教育推進協議会の提言を基に検討し、令和3年度から区内の全公立学校において、外部講師を活用した授業が実施できるようにしたいと考えております。

自民	嶋崎 秀彦 議員	一般質問	1
質問要旨	1 区が「障害児ケアプラン」に取り組むにあたって、その意義と役割は何か。 ①障害のある児童に対して医療機関や学校、保健福祉部等の関係機関同士の連携や相談体制はどのようになっているか？ ②重度の障害児を持つ親等への区の支援はどのような状況か？また、今後の体制整備や対策は？		

	③障害児の成長に寄り添った支援として18歳までの対応から親なき後の自立の対策まで考えるべきではないか。 ④ケアプランに取り組むにあたって、今後の取り組みやスケジュールについて問う。
答弁者	区長・子ども部長

【区長答弁】

嶋崎議員の「障害児ケアプラン」に関するご質問について、お答えいたします。

●まず、障害についての私自身の認識を申し上げる。

障害があるということ自体が、かけがえのない個性であり、その個性は子どもごとに尊重され、育まれるべきもの。

これは発達の障害であっても、身体的な障害であっても同じである。

普通であるということ自体、その基準は人為的、恣意的に定められた尺度にすぎない。

●そこで、区の障害児ケアプランの意義とは、障害のある子どもたちの支援はもとより、子どもたちのポテンシャルや個性を伸ばして、大人になってからも、安心して地域で豊かな生活を送ることのできるような道筋を示すもの。

●また、このプランの役割は、関係機関相互の情報共有と連携により、ライフステージごとに就労や自立に向けて支援を受けることができる有効な手段となるもの。

●このプランを活用することで、障害のあるすべての子どもたちが生き生きと地域で生活しながら、その個性を育んでいくことができるよう、区全体で取り組んでまいりたい。

●なお、詳細及びその他の事項については関係理事者をもって答弁いたさせます。

【子ども部長答弁】

嶋崎議員の「障害児ケアプラン」に関するご質問に区長答弁を補足してお答えいたします。

●まず障害のある児童に対しての関係機関同士の連携や相談体制についてですが、これまでは、個別のケース毎に学校や保健所等からの情報を受けて、児童家庭支援センターの相談担当が対応しており、横断的な連携が十分とは言えませんでした。

そこで、本年7月に立ち上げたケアプラン検討委員会では外部の有識者や障害児の保護者、関係機関から委員として出席を求め、ケアプラン作成に伴う子育てカルテによる情報連携等について、ご意見を頂戴しております。

今後は、より具体的、各論的にケアプランを進めていくに伴い、実務者レベルの作業部会も立ち上げて、早期発見と早期支援のケアを含めた切れ目のない支援の実現に向けて、連携や体制をより充実させてまいります。

●次に、重度の障害児の保護者へのサービスの状況と対策についてですが、平成30年度から、保護者のレスパイトを目的に、重症心身障害児等在宅レスパイト事業を開始しました。

これは重度・重症心身障害児等が在宅で訪問看護師による医療的ケアを受けられるサービスですが、今後は事業周知のいっそうの徹底や親子でより利用し易いよう、児童館の子育て広場でサービスが受けられるような施策も検討してまいります。

また、本年8月には重症心身障害児等通所支援事業所が平河町に開設し、11名の重度重症の障害児を受け入れるとともに、定員

20名の児童発達支援及び放課後等デイサービスを実施し、保護者からも大変喜ばれているところです。

●次に、18歳以降や親なき後の自立に向けての対策についてですが、議員ご指摘のとおり、18歳以降もプランを切れ目なく、引継いでいくことが重要と認識しております。

このため、就労支援やグループホーム、ショートステイの活用等、保健福祉部の障害者サービスを見据えながら、子ども部からも相互に乗り入れるようなことを視野に入れて検討してまいります。

具体的には18歳到達時点で19歳以降のプランを作成して保健福祉部につなげるなど、区の内部はもとより、各関係機関についても円滑な連携が図れるよう、引き続き取り組んでまいります。

●次に、ケアプランの取り組み状況と今後のスケジュールについてお答えいたします。

まず取り組み状況については、7月下旬からさくらキッズの登録児童のうち、申し込みのあった30名についてプランの作成を開始しております。

今後は10月下旬に第2回の検討委員会を開催した後、11月からは、さくらキッズ登録児童以外の一般の児童向けにプランの作成を開始する予定です。

また、その後も、プランがより使いやすく実効性のあるものとなるよう、作成と併せて検証を重ねていくとともに、組織の縦割りの弊害に陥ることなく、関係機関同士がしっかりと連携と情報共有を図るよう、鋭意努力してまいります。

自民	河合 良郎 議員	一般質問	4
質問要旨	千代田区のギフテッド教育について ① 教育研究所におけるギフテッドの調査・研究の現状 ② 白鳥教室における子どもの自立を目指す対応とギフテッドの現状 ③ 本区におけるギフテッド教育の現状と認識 ④ 本区においても新しいギフテッド教育プログラムを実施すべきと考える。 ⑤ ギフテッド教育プログラムにおける産学官の連携 ⑥ 保健福祉計画との連携を通じたギフテッドへの就労支援の在り方		
答弁者	教育担当部長		

河合議員の「ギフテッド教育」に関するご質問についてお答えします。

現在、教育研究所では、いわゆる「ギフテッド教育」といわれているような、先天的に平均よりも顕著に高い能力を持っている子ども達のための特別な教育についての調査・研究は行っておりません。

こうした特別な能力を持つ子どもたちは、高知能、高能力に伴う様々な精神面、社会面での問題ゆえに、コミュニケーションに問題があったり、通常学級ではうまく学んでいくことができなかったりし、不登校となることもあります。

教育研究所で実施している白鳥教室では、不登校などの児童・生徒に対し、一人ひとりの興味・関心に合わせて活動を組み立て、学習していくよう指導していますが、特にギフテッドについて意識して指導を行うことはしておりません。

本区においては、特別な「ギフテッド教育」は実施しておりませんが、全ての子ども達は、一人ひとりが違う個性をもった唯一無二の存在であり、その一人ひとりの可能性を見出し、最大限に伸ばしていく教育が重要であると認識しています。いわゆる「ギフテッド教育」も、そうした子ども達の可能性を伸ばす教育をどのように行っていくかという問題だと認識しております。

本区では、子ども達の多様性を認め、子ども達が主体的に学び、個々の能力を伸ばしていけるよう、ICT機器を活用したり、それぞれのペースで学習できる環境を整えたり、授業展開を工夫したりしています。

ギフテッド教育プログラムには、ギフテッドの子ども達ばかりを集めた学校あるいは学級、その子どもたちの能力への挑戦となるような特別の課題、飛び入学や飛び級、特別な集中講義など、様々なものが考えられますが、現状、本区では、そのような特別なプログラムの実施は考えておりません。

しかしながら、一人ひとりの個性を重視し、それぞれの可能性を最大限に伸ばす教育を進めていくなかでは、議員ご指摘のような、区内の大学や企業と連携することによって子ども達の能力を社会の中で最大限に活かしていくことは、考えていく必要があるものと思います。

また、特別な能力と発達障害等を併せ持つ場合のサポートや就労支援については、現状では特別な対策は実施しておりませんが、障害を持つ子ども達への支援を教育と福祉が連携しながら行っていく中で考えて参ります。

公明	大串 ひろやす 議員	一般質問	5
質問要旨	○幼児教育・保育の無償化にあたって (1) 区は、どのような幼児教育・保育を目指そうとしているのか。基本的な考え方を問う。 (2) 乳幼児の保育と教育について、区の役割と責任とは何か。幼児教育・保育の無償化にあたり、区の目指す幼児教育・保育のあり方 ○保育・教育の質とはなにか。 (1) 乳幼児の保育・教育の質とはなにか。 「就学前プログラム」の改訂について 千代田区版「なるほどBOOK」の作成 (2) 区を考える乳幼児への保育と教育の一体的提供とは何を意味するのか。また今後の方向性について (3) 子育て支援員について		
答弁者	教育長・子ども部長		

【教育長答弁】

大串議員のご質問にお答えいたします。

まず、区が目指す幼児教育・保育の基本的な考え方ですが、本区は、議員のご質問にありました通り、全国にさがけて幼保一元化に取り組み、区立こども園や幼保一体施設を開設してきました。

また、平成26年には、「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」に基づき、各園の特色を尊重しつつも、区立・私立の設置主体の別や幼稚園・保育園といった認可形態の違いにとらわれることなく、子どもたちが等しく良好な教育・保育を受けることができ、安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めてきました。

今回の保育指針等の一連の改定は、これまで本区が取り組んできた保育・教育の方向と軌を一にするものであり、区としてはこれまでの方向性に変わりはありません。

乳幼児期は、心身発達の基礎が形成されるうえで極めて重要な時期であるという認識のもと、小学校教育に切れ目なくつながる就学前教育の充実に努めてまいります。

次に乳幼児の保育・教育について、区の役割と責任ですが、区は、これまでも児童福祉法第24条第1項を基本とし、子どもが確実に保育を受けられる仕組みを区の責務とし、特に待機児問題に対しては、積極的に取り組んでまいりました。

また、乳幼児の保育・教育については、保育園、幼稚園、こども園、どこに入園しても同じ水準の教育が受けられるようにすることが区の責務であり、すべての子どもの健やかな育ちを保障出来るように努めてまいります。

【子ども部長答弁】

大串議員のご質問に教育長答弁を補足してお答えいたします。

まず、乳幼児の保育・教育の質と「就学前プログラム」の改訂等についてですが、区は、これまで議員ご指摘の通り、「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」、「次世代育成支援計画」、「就学前プログラム」により、乳幼児の教育・保育の質を担保してきました。

特に小学校に進学する前に身に付けてもらいたい幼児教育・保育の内容を明らかにするため、子どもたちの健全育成に資することを目的として、「就学前プログラム」を策定し、これを基に幼児教育・保育を展開してきました。

「就学前プログラム」の改訂につきましては、「就学前プログラム」策定から6年が経過し、保育指針、幼稚園教育要領等の改訂の内容も盛り込む必要があることから、誰にでもわかりやすい「就学前プログラム」の改訂を進めてまいります。

また、議員ご指摘の千代田区版「なるほどBOOK」につきましても「就学前プログラム」の改訂にあわせ、検討してまいります。

次に、区の考える乳幼児への保育と教育の一体的提供と今後の方向性については、改定された保育指針と幼稚園教育要領に基づく保育と教育は、保育園や幼稚園といった認可形態による差異がほぼ無く、「就学前教育において育みたい資質・能力」は同一となっています。

当区が就学前プログラムにて取り組んできたことも、保育園や幼稚園といった認可形態の違いにとらわれることなく、小学校に進学する前に身につけたい内容です。

そのため、区の考える乳幼児への保育と教育の一体的提供と今後の方向性については、千代田区型こども園や幼保一体施設など、これまで行ってきた保育と教育の一体的に提供する取り組みをより一層推進してまいります。

次に子育て支援員の役割と今後の配置ですが、地域の子育て・家庭支援を担う人材を養成するため、区は実績のある特定非営利活動法人「あい・ぽーとステーション」と協働して、子育て支援活動に必要な知識・経験を習得するための千代田子育てサポート事業を実施しています。

千代田子育てサポートのカリキュラムを終了した受講生は、子育て支援員として認定を受けます。主に児童館での一時預かり保育、あい・ぽーとステーションでの小規模保育事業、家庭に訪問して保育する訪問型事業などの活動をしており、昨年度は、4,874件の実績がありました。今後は、これまでの事業だけではなく、子育て支援員の豊富な経験を活かし、身近な存在として保護者に寄り添い、地域の保育園等、幅広く活動の場を設けてまいります。

自民	池田 ともり 議員	一般質問	9
質問要旨	学校給食を通じた食育の中で食品ロス削減について教育委員会の見解		
答弁者	教育担当部長		

池田議員の学校給食における食品ロス削減に向けた取り組みについてのご質問にお答えいたします。

教育委員会では、未来を担う子どもたちの視点に立って、食品ロスの削減を重要な問題として受け止めており、各学校では、様々な機会をとらえて啓発に取り組んでいます。

学校給食では、10月16日が世界の食糧問題を考える日として国連が制定した「世界食糧デー」であることから、10月分の献立中の行事食として「食品ロス」をテーマに掲げております。具体的には、食品ロス削減の普及啓発のため、賞味期限が近くなった区の防災備蓄食材のうち、保存食ビスケットを活用して、乾パンプディングを提供する計画としております。この取り組みは、次年度以降も継続する予定で、様々な防災備蓄食材を活用した献立作成を計画しております。

また、小学校 6 年生を対象とした外部講師を招いた食育の授業では、食品ロス削減にとどまらず、SDGs をキーワードとして環境問題に発展させた授業も実施しております。

教育委員会といたしましては、今後とも、こうした活動に対して、関係部署とも連携のうえ積極的に支援してまいります。また、SDGs は先進国自身が取り組むべき重要な課題として認識しており、様々な教育活動において、保護者や子ども達への啓発など、積極的に取り組んでまいります。

立民	岩田 かずひと 議員	一般質問	13
質問要旨	動物虐待ではないかとの意見がある中でもなお、学校で動物を飼育する意義と今後の区の対応について		
答弁者	教育担当部長		

岩田議員の「学校における動物飼育」に関するご質問についてお答えします。

学校・園における動物の飼育は、子ども達にとって、動物に直接触れることができる体験の一つであり、情操教育や心の教育にも資するものです。

また飼育にあたっては保護者の方々にもご協力いただいています。

動物の飼育は、各学校・園の判断において行うものですが、教育委員会では、適切な飼育がおこなわれるよう、専門的な知識をもった獣医師等との連携・協力を進めると共に、飼育方法の指導や施設の充実などの支援をしており、今後も必要な支援を行って参ります。

共産	飯島 和子 議員	一般質問	15
質問要旨	主権者教育について ① 現実にある政治・社会問題の争点を深めることなしに、政治的リテラシーは育つのか。 ② 現実の政治問題について、教師が多様な意見を紹介しながら自分の見解を示すことは、政治的中立を損なうことになるのか。また、生徒が自分たちの問題として、校内で話し合うことを積極的に行うことについての見解を求める。 ③ 子どもに関わる政策議論の場に当事者の児童・生徒を加えることが必要ではないか。		
答弁者	教育担当部長		

飯島議員の主権者教育に関するご質問にお答えいたします。

主権者教育は、単に政治の仕組みについて、必要な知識を習得させるものではなく、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、主体的に判断する力を身に付けさせていこうとするもので、政治的リテラシーを育成するものだと考えています。

そのためには、政治・社会問題について理解を深めることも必要です。

新学習指導要領では、対話や議論を重視しており、例えば社会科の授業において、公共施設の整備や少子高齢社会における社会保障制度など、現実の社会で生じている問題について、対話や議論を行うなどにより政治的リテラシーを育むことができるものと考えております。

また、現実の社会で生じている問題を取り上げるにあたり、教員が中立的な立場か

ら多様な意見を紹介することは、児童・生徒自身が対話や議論を通じて、理解を深めるための助けになりますが、教員自身の意見表明は、児童・生徒自身による対話や議論を委縮させる場合もあることを考える必要があります。

また、こうした児童・生徒自身による対話や議論を授業中に限らず、自分たちの問題として行うことや、政策論議の際に意見表明をすることも、主権者教育にとって有益なものであると思います。

教育委員会では新学習指導要領の趣旨に基づきながら、子どもたちに、現実の社会で生じる諸課題について事実を元に多面的、多角的に考察し公正に判断する力、よりよい社会の形成者として主体的に社会参画する力を育む学校教育の推進に努めてまいります。

令和2年度保育園・こども園等 入園申し込みについて

1 申し込み受付期間について

(1)一次選考の受付期間中の土曜日については、申請の受付・相談を行います。

目的 就労等により、平日来庁して申込みができない保護者の利便性を高めるため。

	令和2年4月入園
受付期間	令和元年12月2日(月)～ 令和元年12月28日(土)
土曜開庁日	受付期間中毎週土曜日 8時30分～17時
結果発表	令和2年2月10日

(2)前年度と同様に例月の選考結果発表を早めるため、申し込み受付期間を前倒しします。

目的 選考結果の発表を前月5日前後に早めることで、入・転園準備に十分な期間を取ります。
また、認証保育所等に子どもを預けている保護者の経済的負担を軽減します。

入園希望月	受付期間
	令和2年度
4月(一次締切)	令和元年 12月 2日(月) ～ 12月28日(土)
4月(二次締切)	令和2年 1月 6日(月) ～ 2月14日(金)
5月	3月 2日(月) ～ 4月 1日(水)
6月	4月 2日(木) ～ 4月28日(火)
7月	4月30日(木) ～ 5月29日(金)
8月	6月 1日(月) ～ 6月30日(火)
9月	7月 1日(水) ～ 7月31日(金)
10月	8月 3日(月) ～ 8月31日(月)
11月	9月 1日(火) ～ 9月30日(水)
12月	10月 1日(木) ～ 10月30日(金)
翌年 1月	11月 2日(月) ～ 11月27日(金)
2月・3月	入園はありません。

2 選考基準について

平成 31 年度(令和元年度)と変更はありません。

3 令和2年4月新規開設予定園

私立認可保育園							
施設名・住所	定員(人)						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
あい・あい保育園三番町 三番町 14 番地6	6	8	9	9	9	9	50
平河町ちとせ保育園 平河町二丁目 10 番2号	9	12	12	14	14	14	75
ほPPERランド外神田 外神田四丁目8番	6	12	15	18	18	18	87

事業所内保育事業(区民枠)				
施設名・住所	定員(人)			
	0歳	1歳	2歳	合計
(仮称)財務省本庁舎保育室 霞が関三丁目1番1号	1	2	2	5

※住所表記は今後変更がある可能性があります。

年末保育の概要

1 年末保育とは

12月29日、30日の2日間、保護者（同居の親族を含む）が就労により保育が困難な場合に、区立園でお子さんをお預かりする特別保育です。

2 利用できるお子さん

区内在住で年末保育を必要とする、小学校就学前の健康で集団保育が可能なお子さん（12月29日現在、生後満6か月以上であれば、ふだん保育園に通っていないお子さんもお預かり可）。

3 実施日

令和元年 12 月 29 日（日）・30 日（月）

4 実施園・定員・保育時間

園 名	定 員	保 育 時 間 等
西神田保育園 （西神田 2-6-2 西神田コスモス館）	46 名 （ただし、0 歳児クラスのみ 9 名以内）	開園時間 午前 7 時 30 分～午後 7 時 30 分 （午後 6 時 30 分以降は延長保育時間。 0 歳児クラスは延長保育なし。）

※クラスの年齢は、平成 31 年 4 月 1 日時点の年齢で計算となります。

5 申込期間

令和元年 11 月 18 日（月）～12 月 6 日（金）

※申込者が定員を超過した場合は、保育を必要とする度合により選考を行います。

6 申込先と面接

申し込み先は在籍園ごとに異なり、区立認可保育園・区立こども園在園児以外のお子さんは、実施園での面接が必要となります。

7 必要書類

必要書類はお子さんの在籍園ごとに異なります。

（1）区立認可保育園・区立こども園に在園しているお子さん

① 年末保育申込書

② 勤務証明書（年末保育用）

※父・母・65 歳未満の同居者各々分が必要。

（2）その他のお子さん

① 年末保育申込書

② 勤務証明書（年末保育用）

※父・母・65 歳未満の同居者各々分が必要。

③ お子さんの母子健康手帳

8 利用料

0～2歳児クラス 1日 5,000 円（延長保育 1回 500 円）

3～5歳児クラス 1日 3,000 円（延長保育 1回 300 円）

【利用料の減免申請について】

非課税世帯等であって、以下のいずれかに該当する場合には、年末保育の利用料の減免申請が可能。

減免申請ができる場合

- ① 生活保護受給世帯（全額免除）
- ② 平成 31 年度（令和元年度）の住民税が非課税の世帯（全額免除）
- ③ 平成 31 年度（令和元年度）の住民税が均等割額のみ課税の世帯（5 割減額）
- ④ 兄弟姉妹で同時期に年末保育を利用する場合（第 2 子は 5 割減額、第 3 子以降は全額免除）

ご近隣のみなさまへ

(仮称)四番町公共施設整備計画に係る

説明会のお知らせ

涼風の候、みなさま方におかれましては、ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

千代田区では、現在の四番町図書館・区営アパート・職員住宅と四番町保育園・児童館・区営住宅の2棟の敷地で、(仮称)四番町公共施設(図書館・児童館・保育園・区営住宅・職員住宅)1棟の建設を予定しております。

つきましては、計画概要について、下記のとおり、説明会を開催いたしますので、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご出席くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、説明会開催にあたりまして、ご質問などがございましたら、下記連絡先にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 令和元年10月10日(木)
午後6時30分～(1時間程度を予定しております)
2. 場所 いきいきプラザ一番町 地下1階 カスケードホール
3. 連絡先 <計画>千代田区 子ども部 子ども施設課
担当：石井(妙)・石井(凌)
電話：03-5211-4337
<設計・工事>千代田区 政策経営部 施設経営課
担当：荒城(あらき)・相坂(あいさか)
電話：03-5211-4163
<設計者>株式会社 類設計室
担当：新川・峯川
電話：03-5713-1011

※この説明会は、「千代田区建築計画の早期周知に関する条例」に基づき、実施するものです。

※裏面案内図をご参照ください。

案内図



いきいきプラザ一番町

住 所：千代田区一番町1 2

最寄り駅：

「半蔵門駅」(東京メトロ半蔵門線) 5 番出口徒歩5分

「麹町駅」(東京メトロ有楽町線) 5 番出口徒歩5分

「市ヶ谷駅」(JR、東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線) 徒歩1 3分

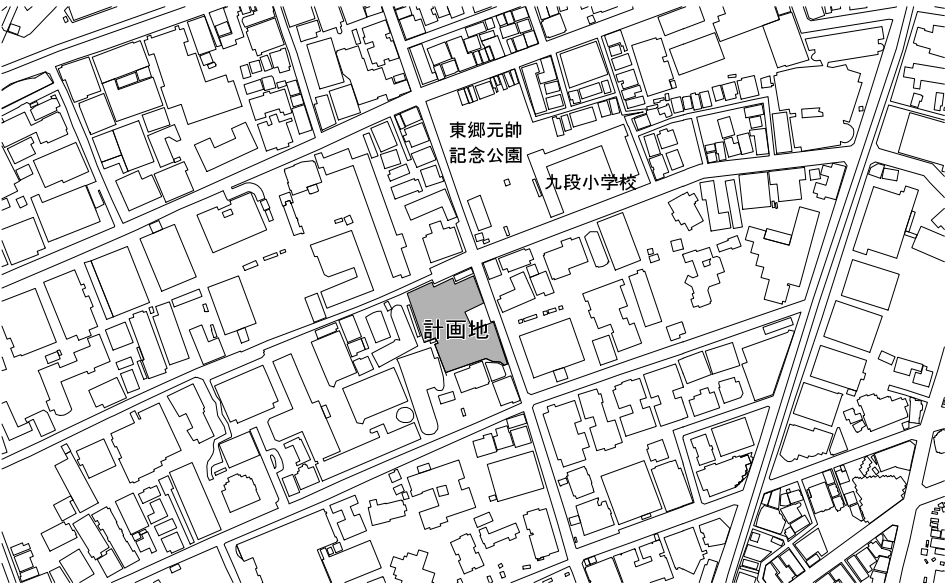
電 話：03-3265-6311

(仮称)四番町公共施設整備について

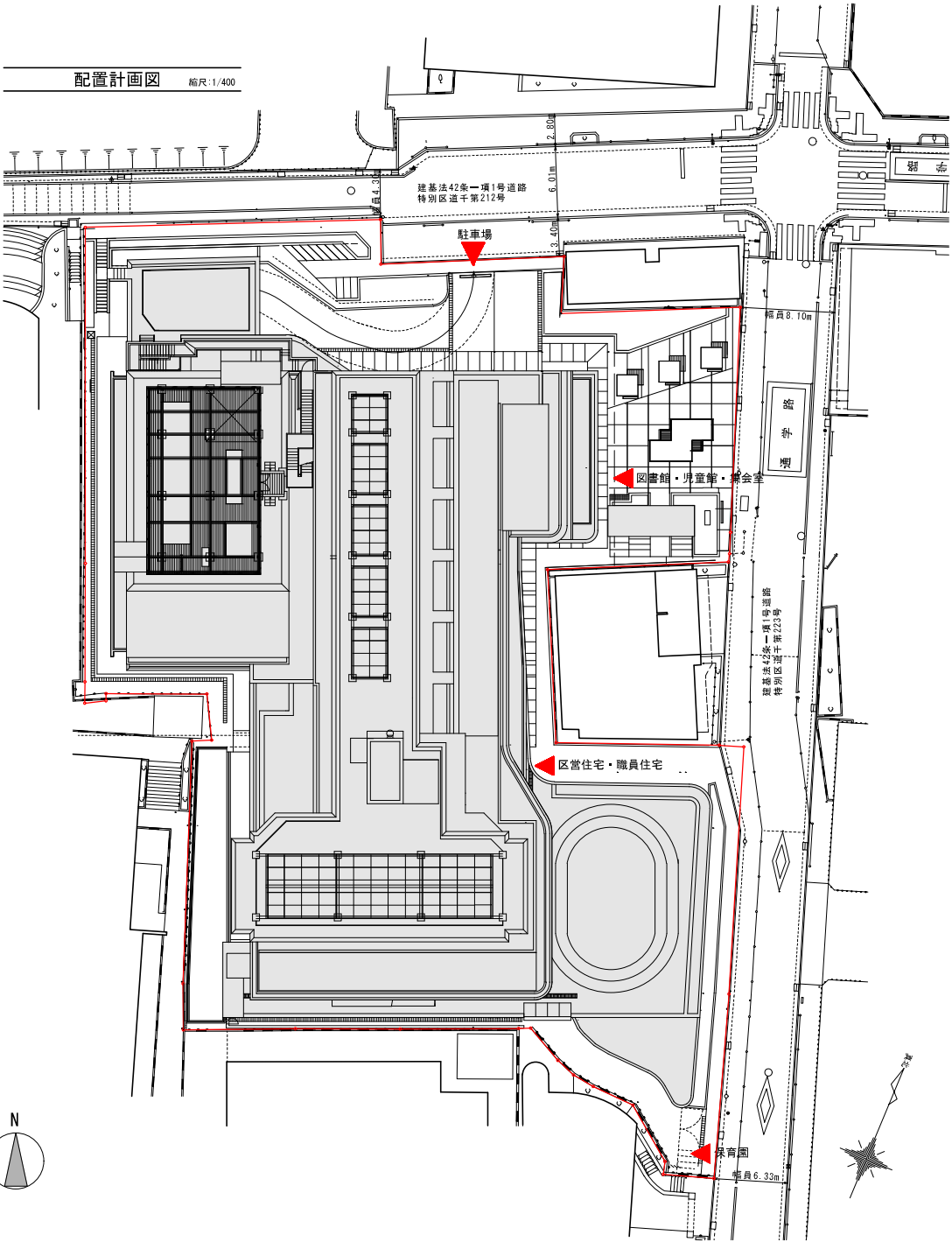
計画概要

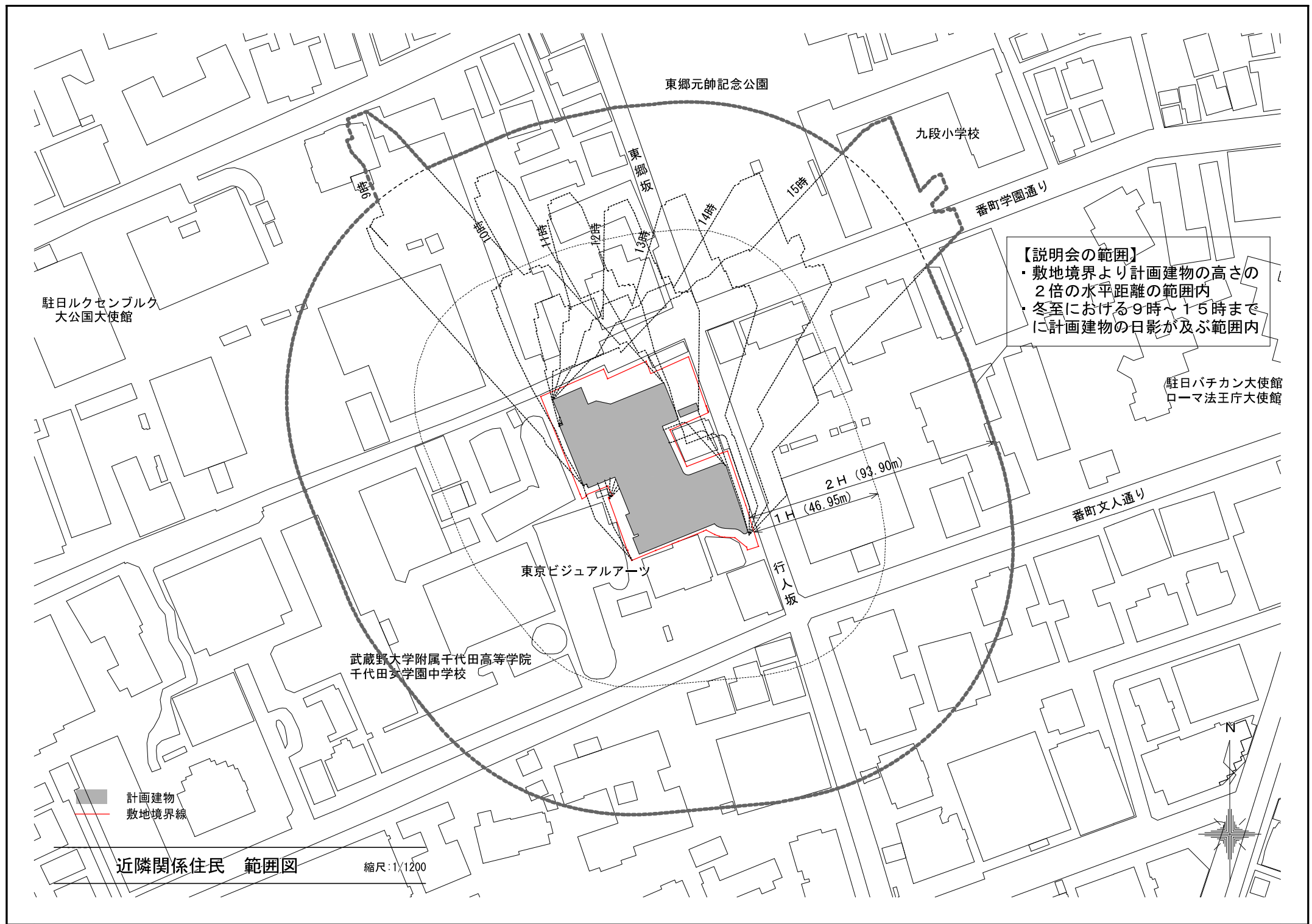
・建物名称	(仮称)四番町公共施設
・計画地	千代田区四番町1-1、他
・用途	図書館、保育園、児童館、集会室、区営住宅、職員住宅
・工事種別	新築
・敷地面積	3,292.09 m ²
・建築面積	2,200.00 m ²
・延べ面積	12,360.00 m ²
・建蔽率	67 % (許容建蔽率 : 70 %)
・容積率	266 % (許容容積率 : 400 %)
・構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 基礎免震
・階数	地下1階、地上12階
・基礎地業	杭基礎
・最高高さ	46.95 m
・軒高さ	46.35 m

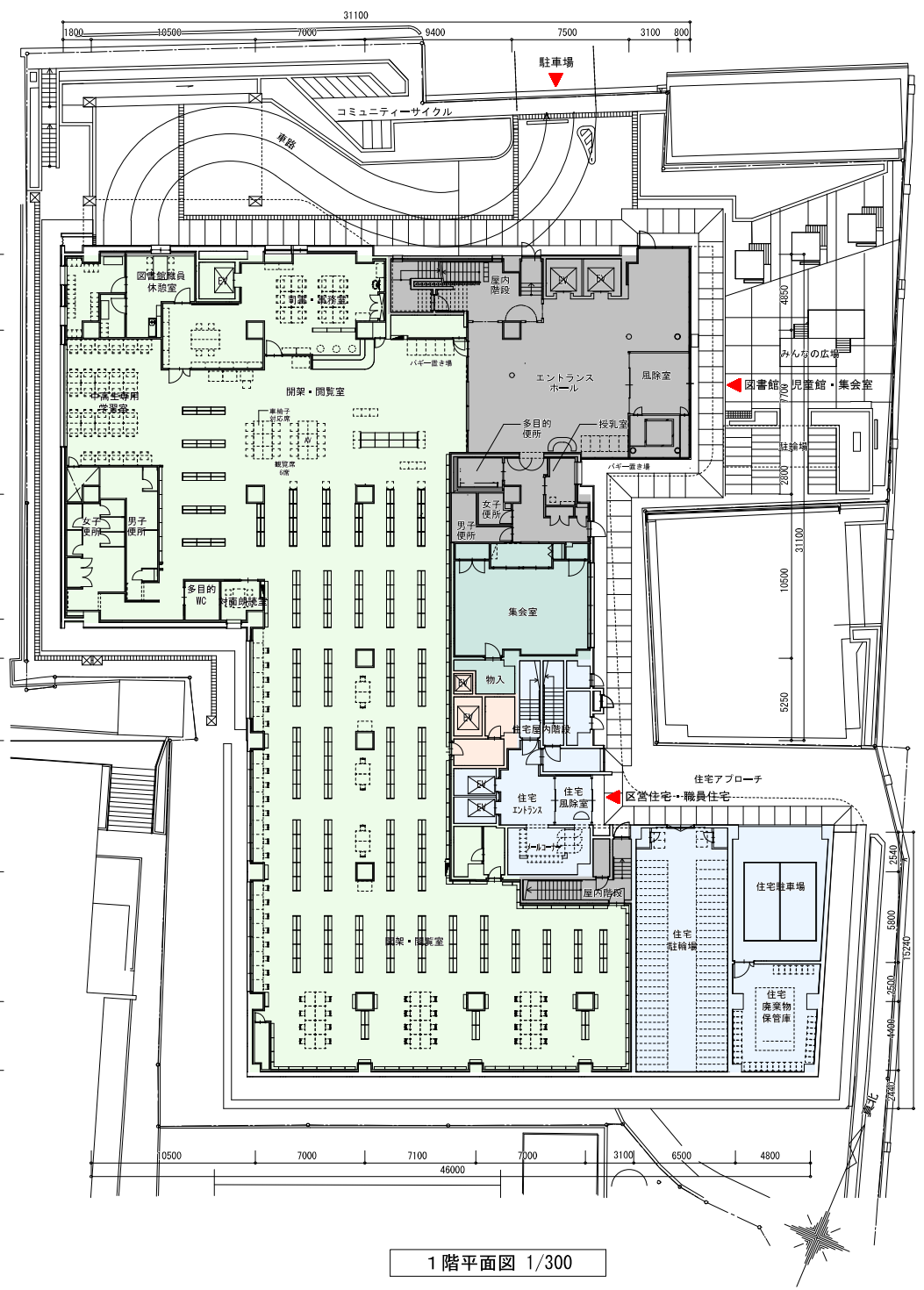
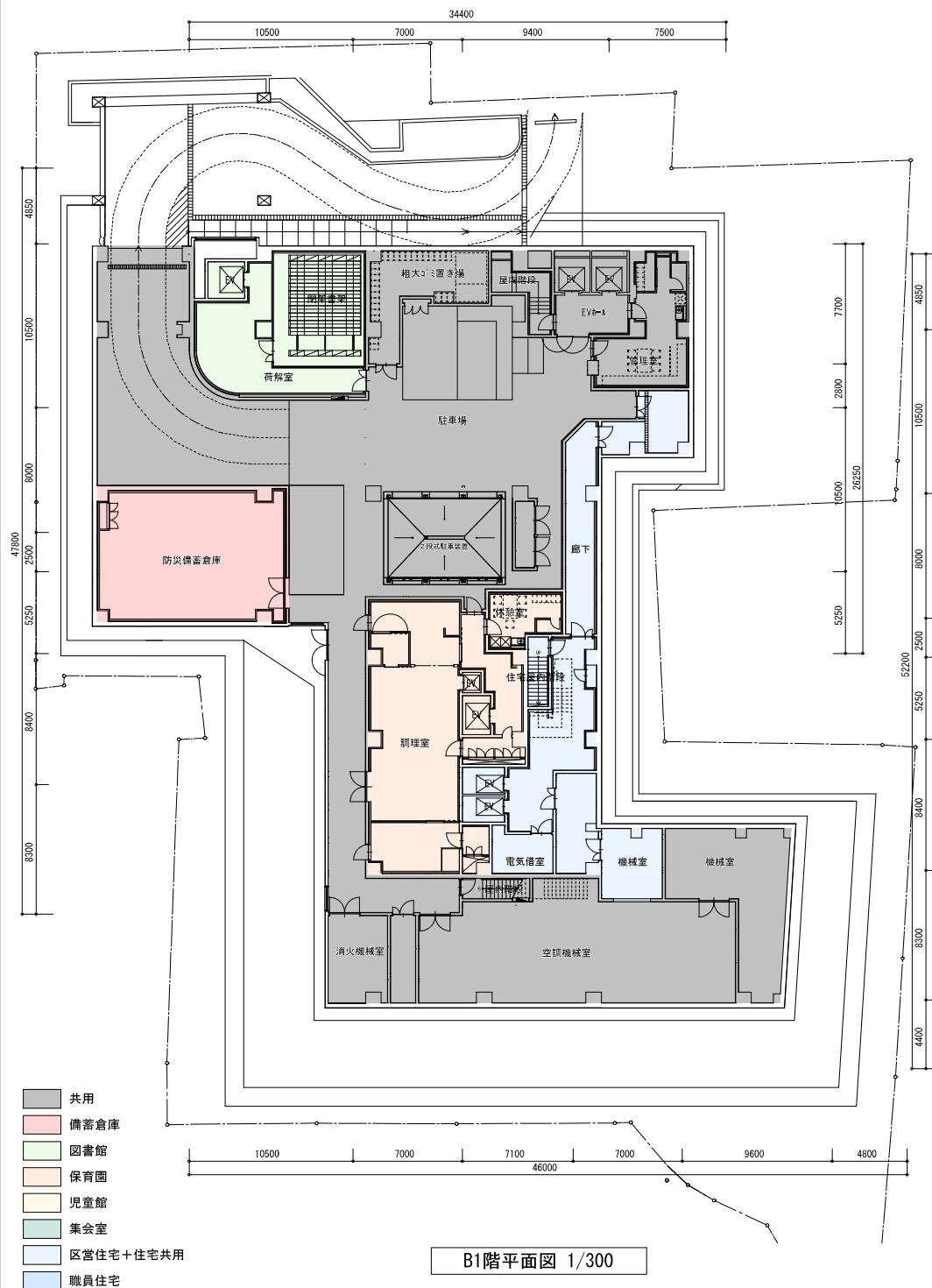
付近見取図 縮尺: 1/1000

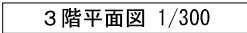
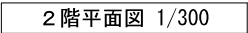


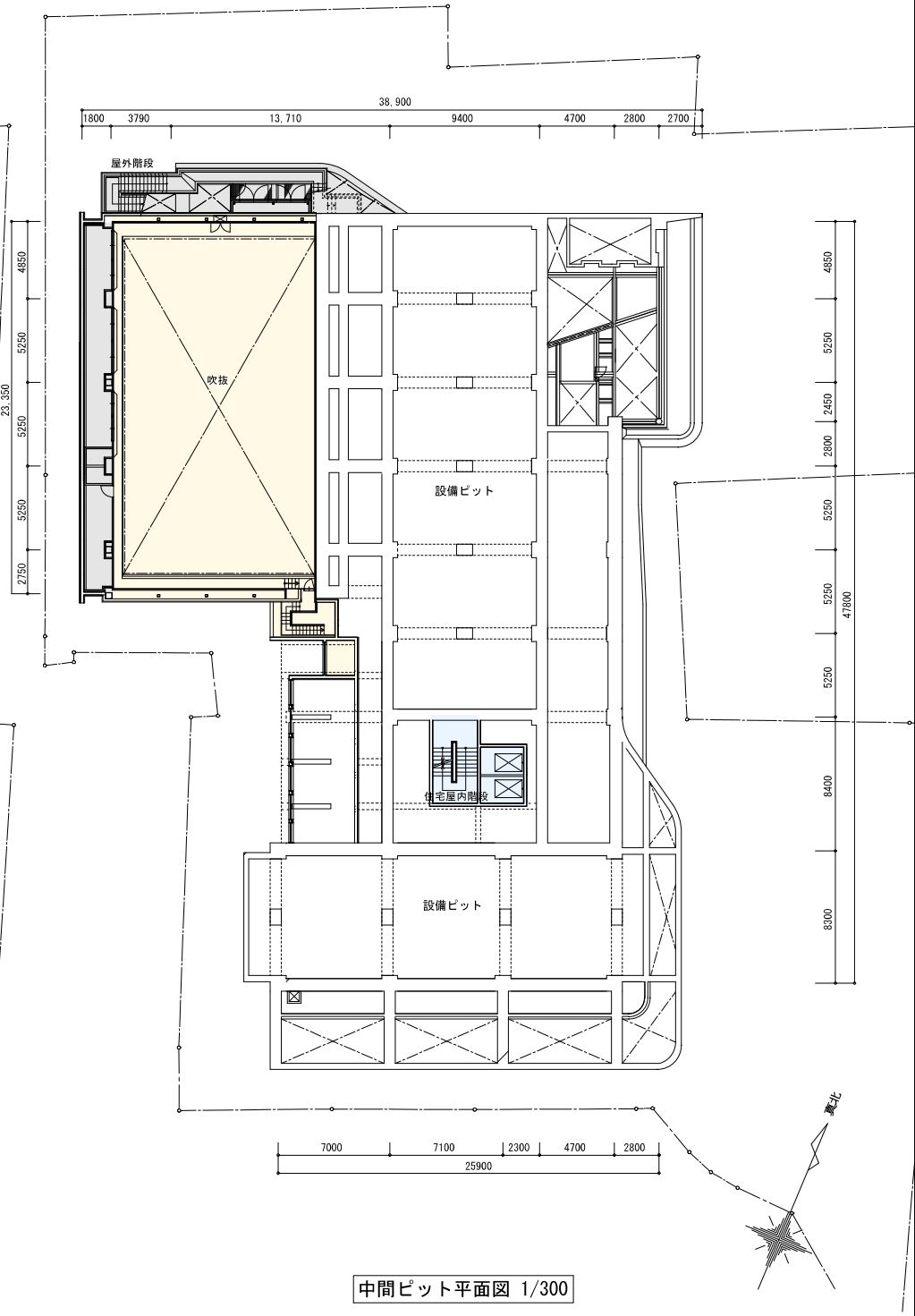
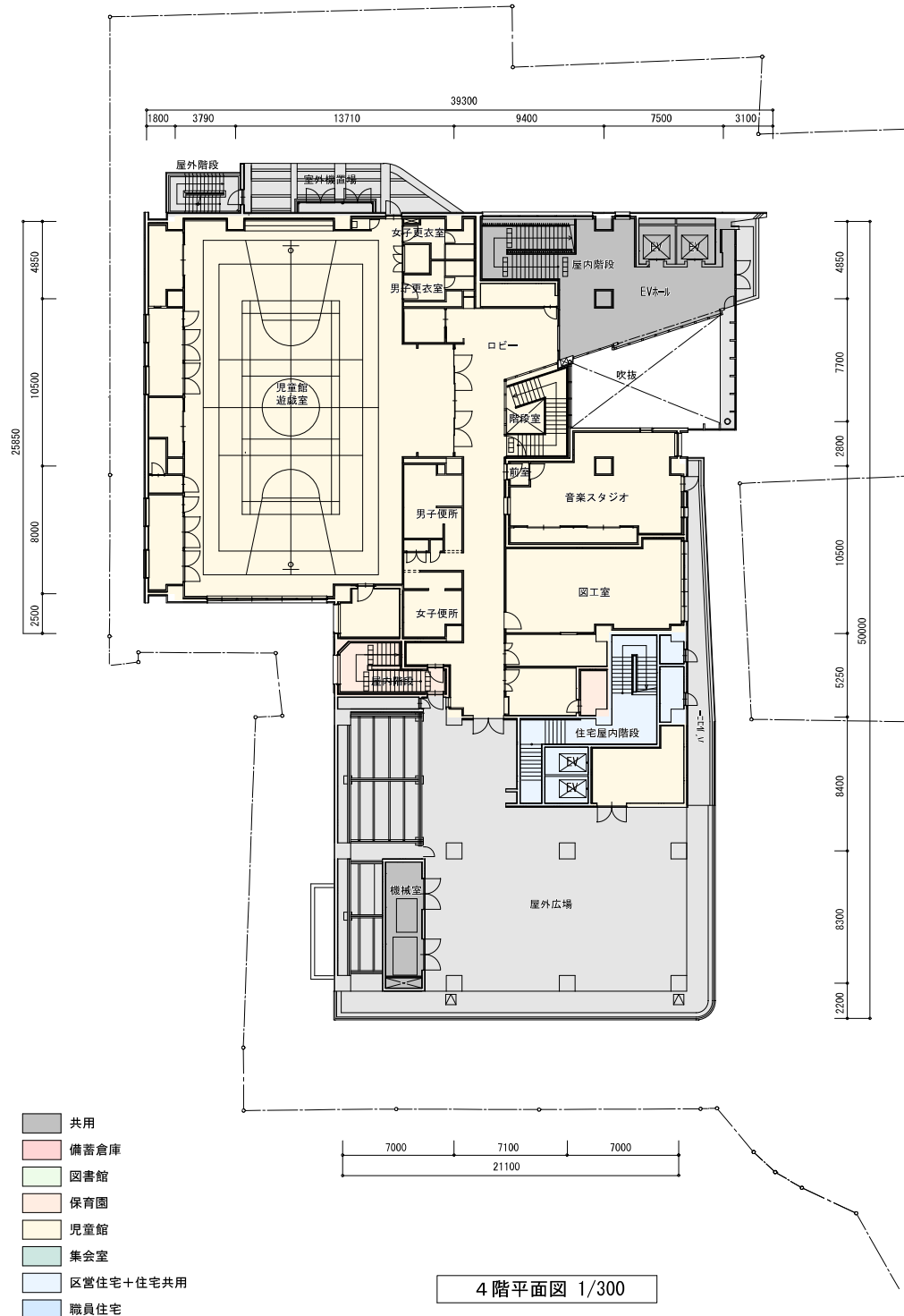
配置計画図 縮尺: 1/400



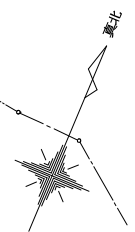
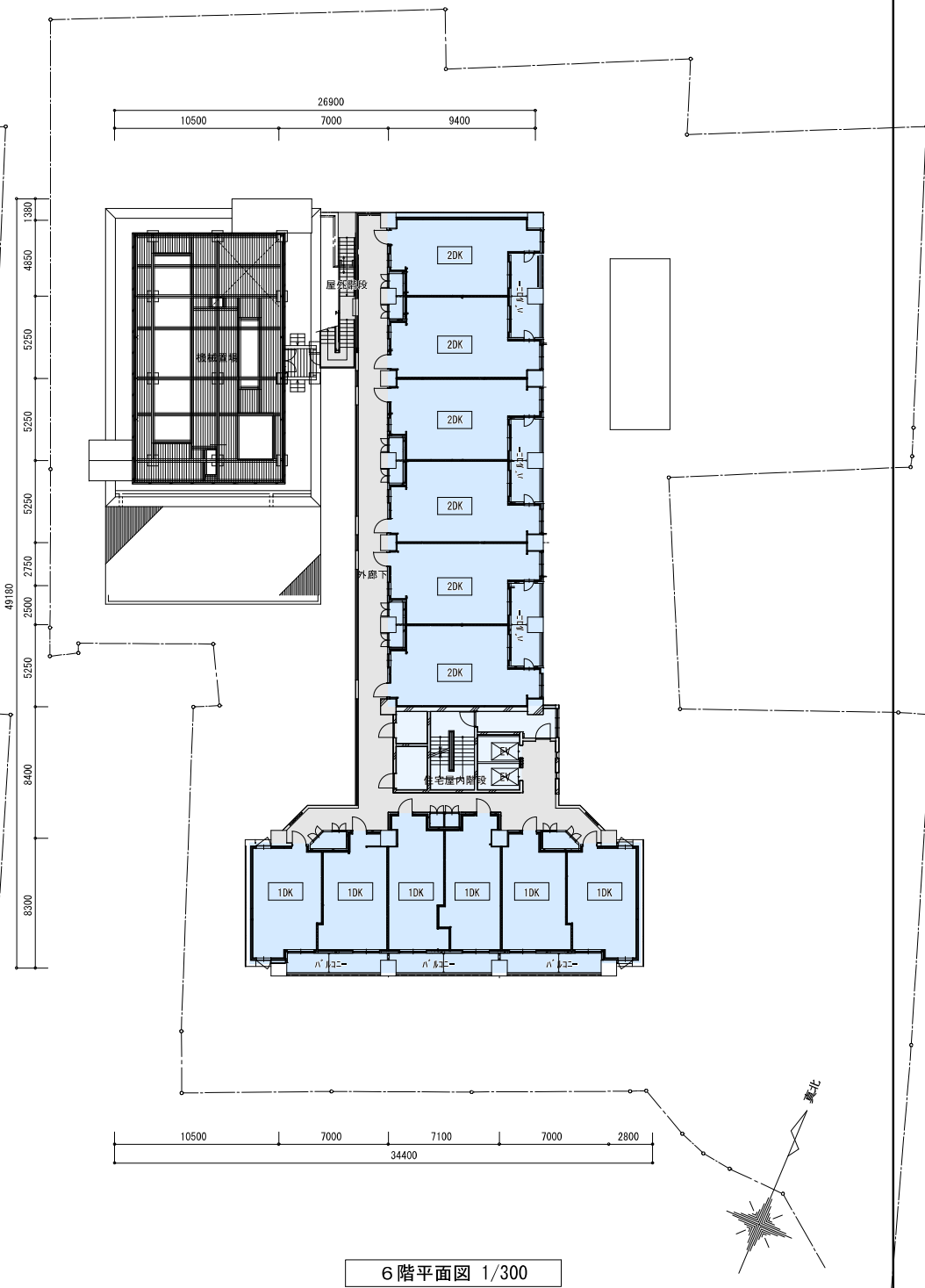
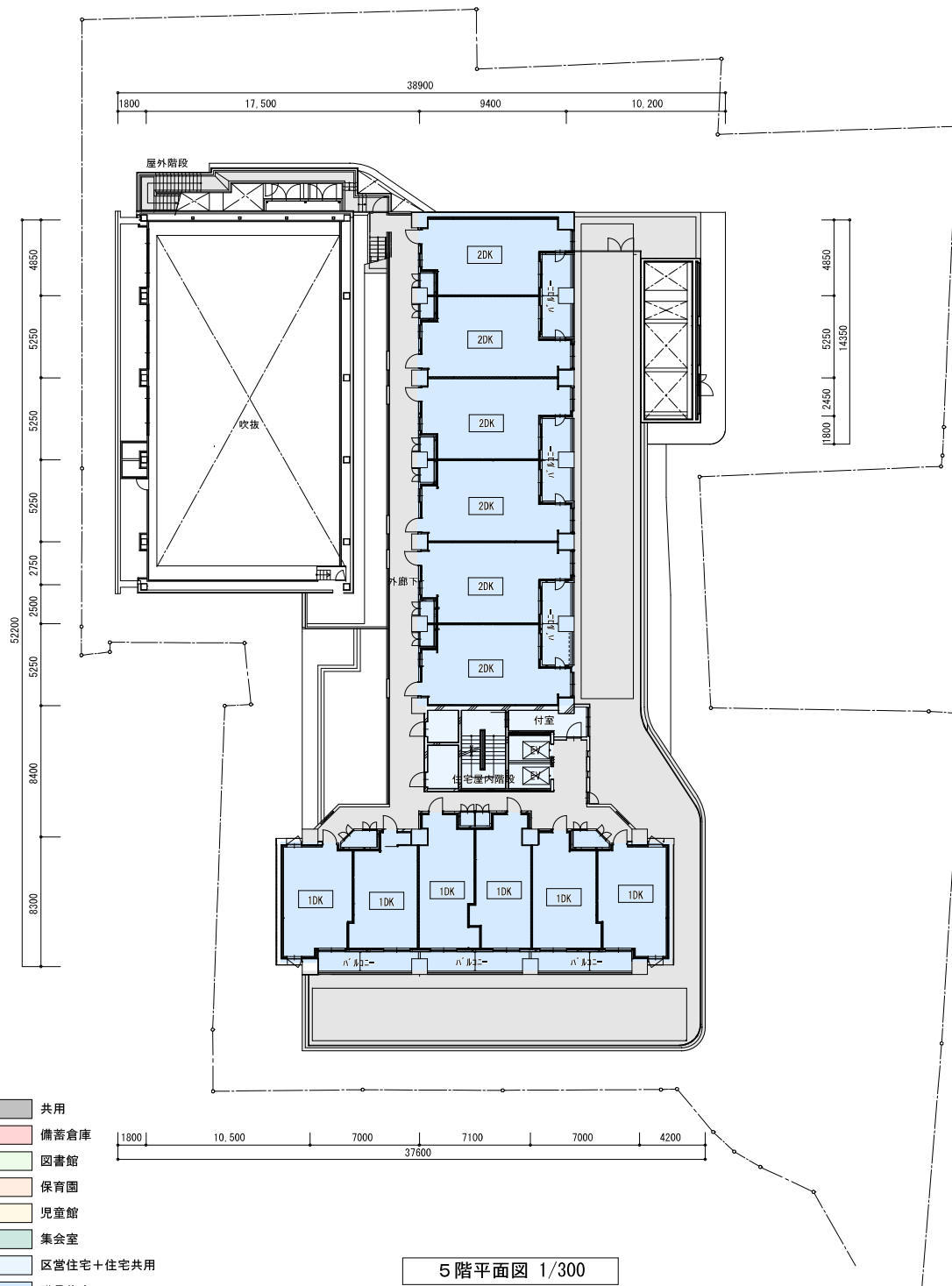




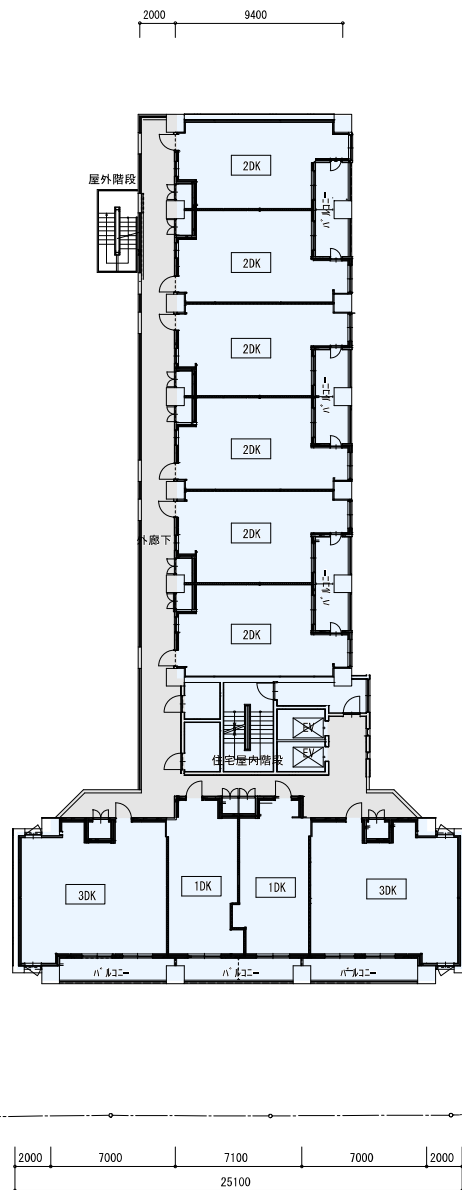




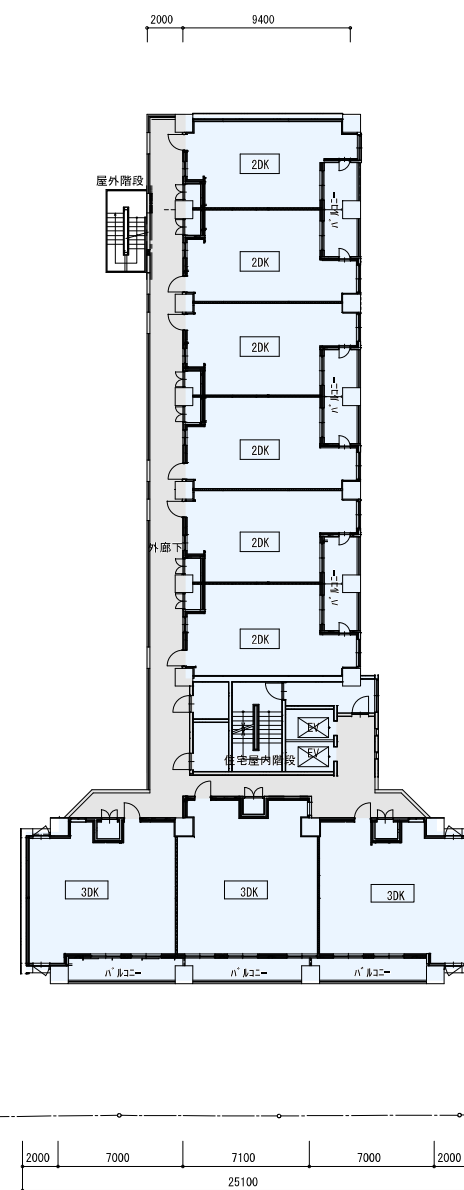
- 共用
- 備蓄倉庫
- 図書館
- 保育園
- 児童館
- 集会室
- 区営住宅+住宅共用
- 職員住宅



- 共用
- 備蓄倉庫
- 図書館
- 保育園
- 児童館
- 集会室
- 区営住宅+住宅共用
- 職員住宅



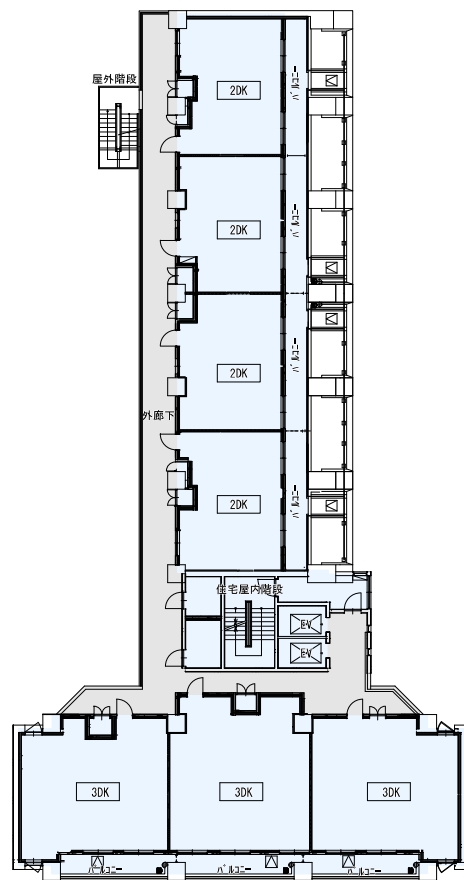
7 ~ 8 階平面図 1/300



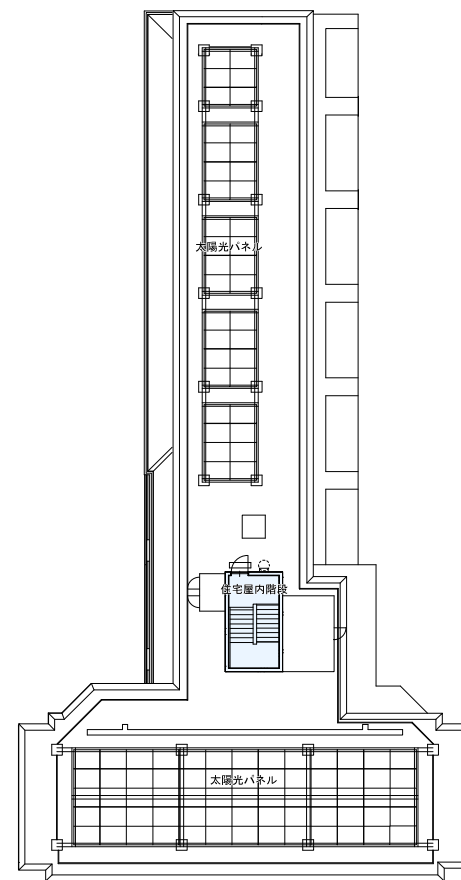
9 ~ 11 階平面図 1/300



- 共用
- 備蓄倉庫
- 図書館
- 保育園
- 児童館
- 集会室
- 区営住宅+住宅共用
- 職員住宅



12階平面図 1/300



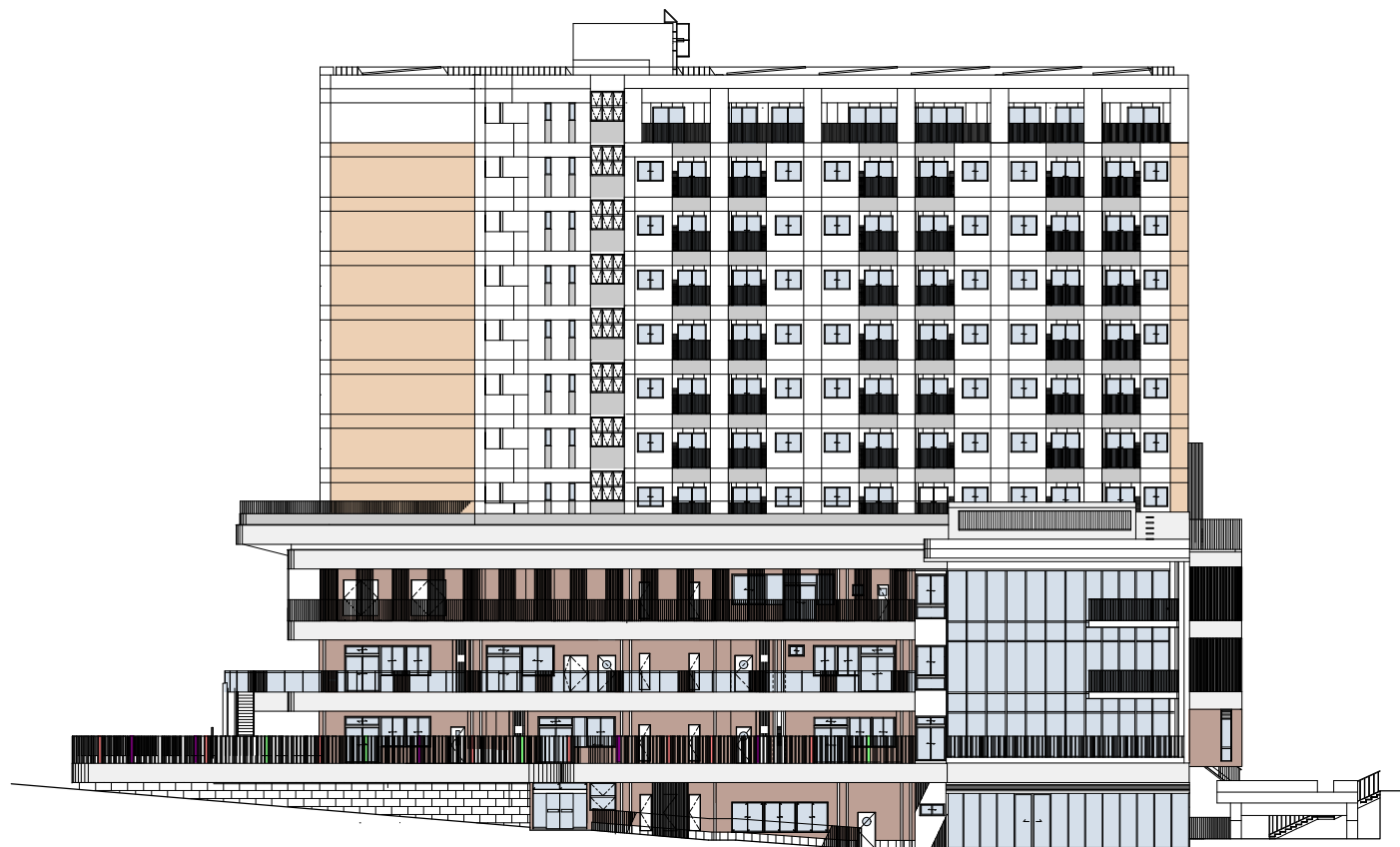
屋上平面図 1/300

真北

- ▽ 建物最高高さ
- ▽ バラベット天端
- △ RFL (水下=軒高)
- ▽ 12FL
- ▽ 11FL
- ▽ 10FL
- ▽ 9FL
- ▽ 8FL
- ▽ 7FL
- ▽ 6FL
- ▽ 5FL
- ▽ ビットFL
- ▽ 4FL
- ▽ 3FL
- ▽ 2FL
- ▽ 1FL
- △ 設計G.L.

46,950

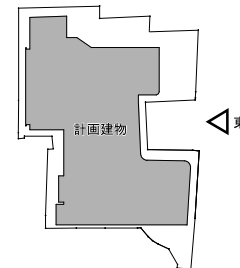
▽ 建築基準法



4,400	8,300	8,400	5,250	2,500	2,750	5,250	5,250	5,250	4,850
52,200									

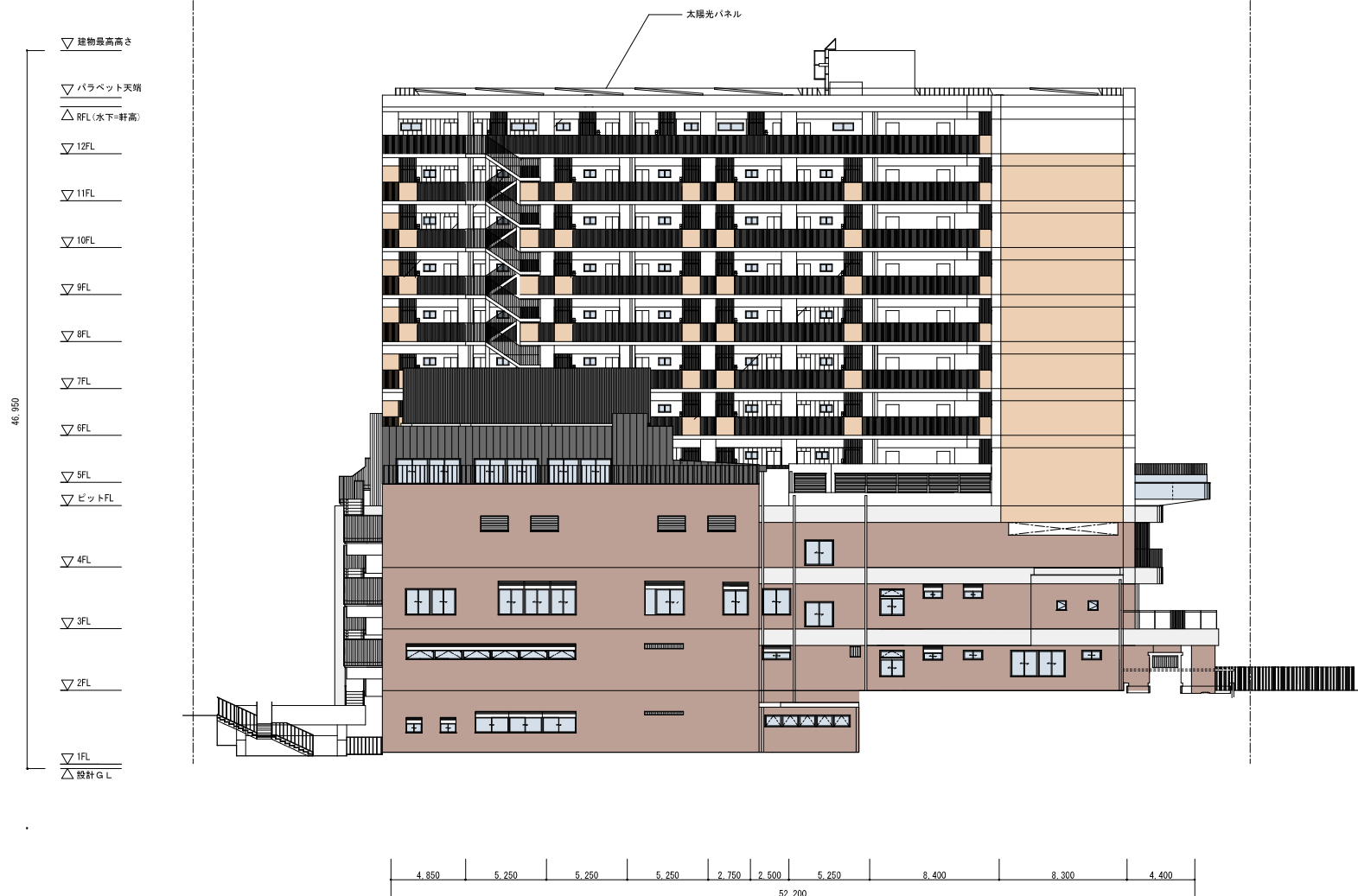
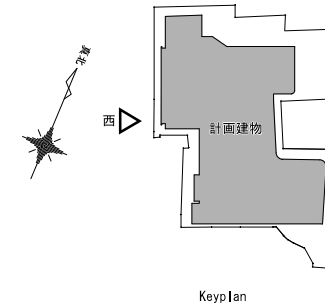


△ 建築基準法



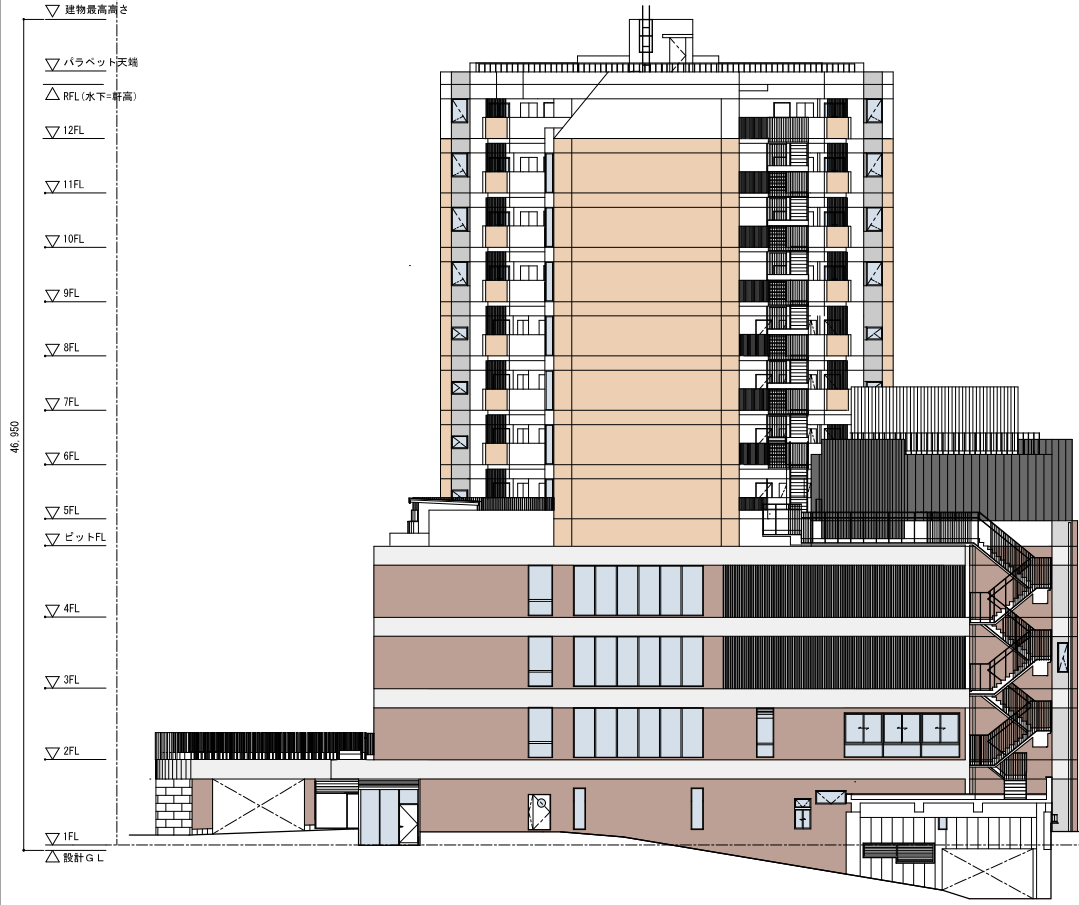
Key Plan

東立面図 1/300



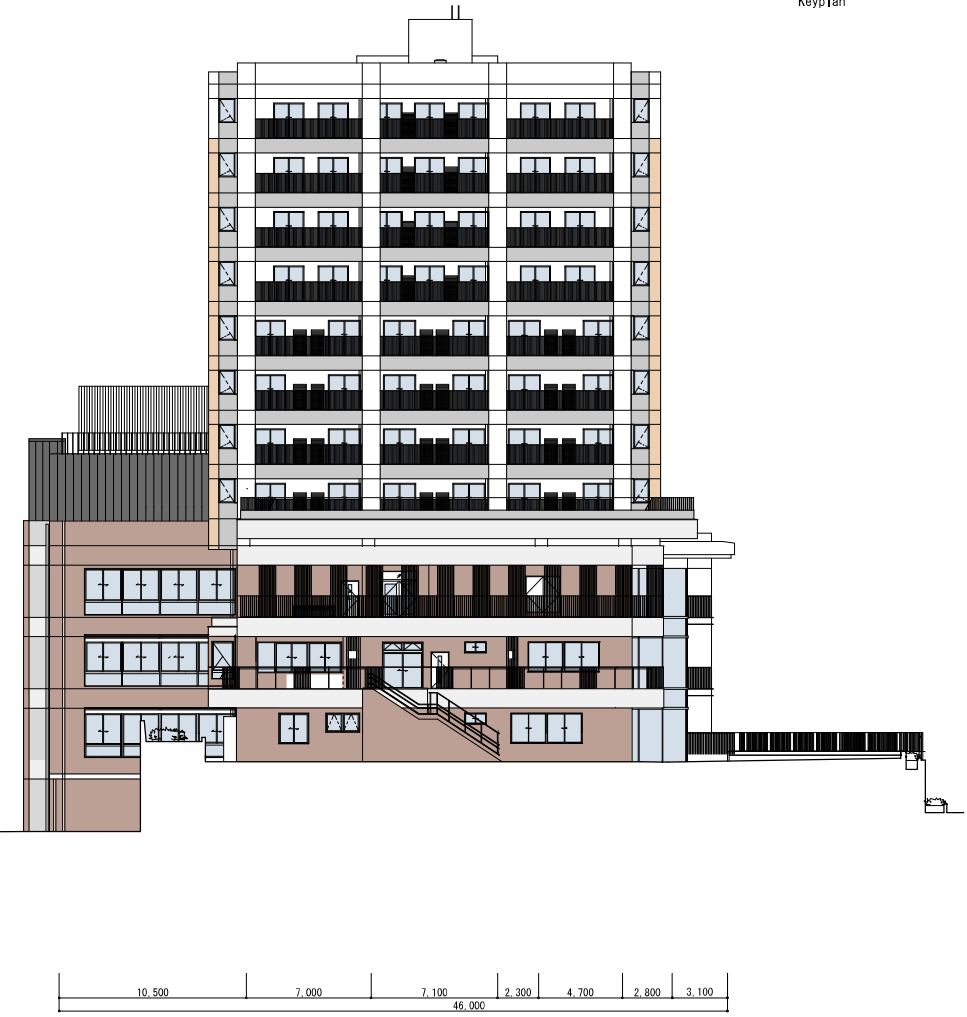
西立面図 1/300

- ▽ 建築物最高高さ
- ▽ パラペット天端
- △ RFL (水下=軒高)
- ▽ 12FL
- ▽ 11FL
- ▽ 10FL
- ▽ 9FL
- ▽ 8FL
- ▽ 7FL
- ▽ 6FL
- ▽ 5FL
- ▽ ビットFL
- ▽ 4FL
- ▽ 3FL
- ▽ 2FL
- ▽ 1FL
- △ 設計G.L

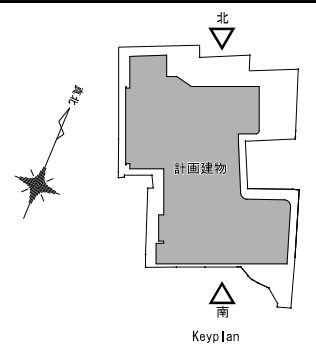


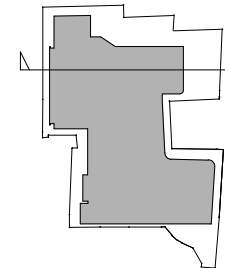
北立面図 1/300

- ▽隣地境界線
- ▽隣地境界線



南立面図 1/300





Keyplan

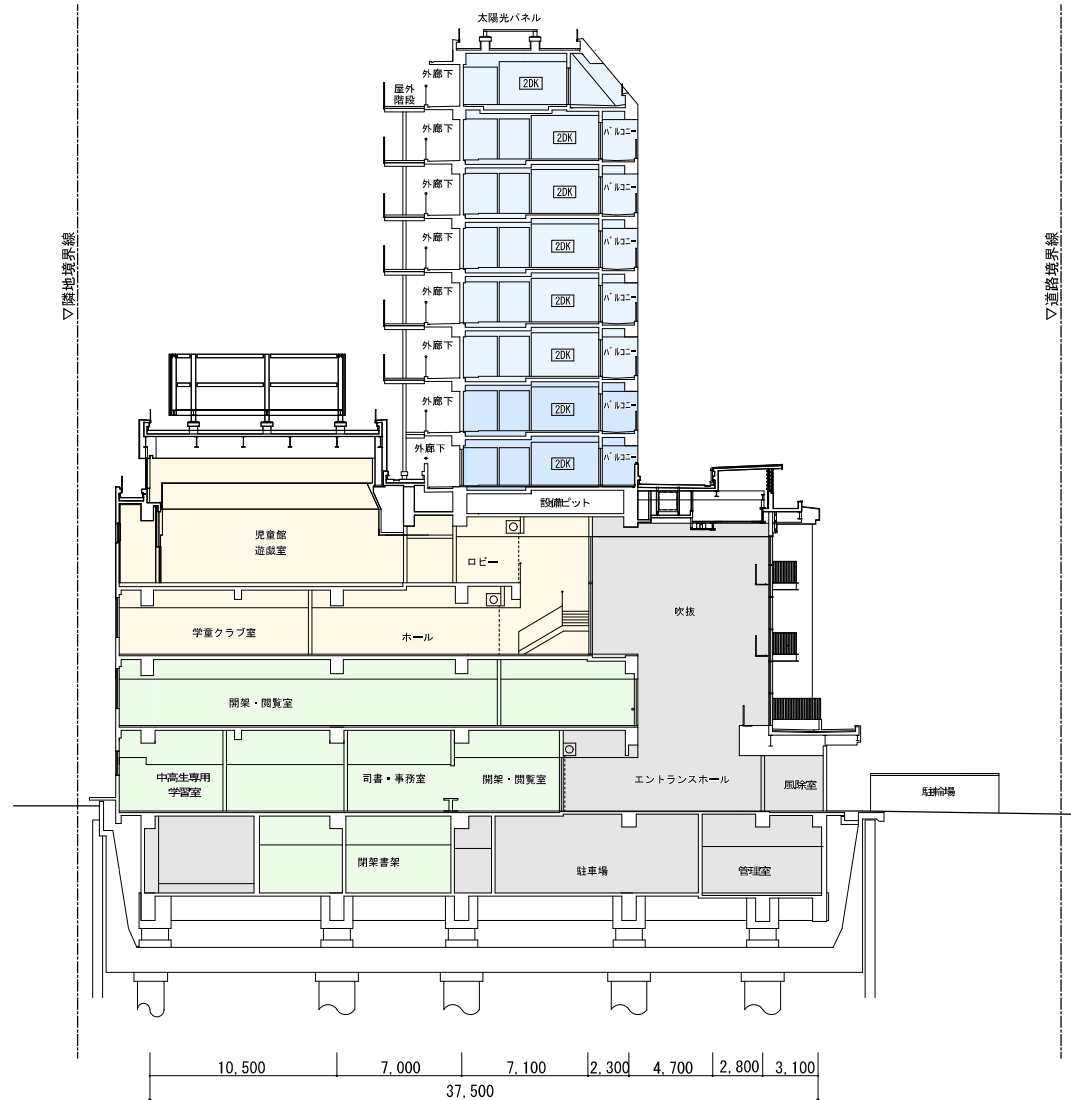


▽パラペット天端
△RFL(水下=軒高)
▽12FL
▽11FL
▽10FL
▽9FL
▽8FL
▽7FL
▽6FL
▽5FL
▽ピットFL
▽4FL
▽3FL
▽2FL
▽1FL
△△設計GL
▽B1FL
▽免震

43,750

▽陸地境界線

▽道路境界線



吹き抜け廻り断面図 1/300

- 共用
- 備蓄倉庫
- 図書館
- 保育園
- 児童館
- 集会室
- 区営住宅+住宅共用
- 職員住宅

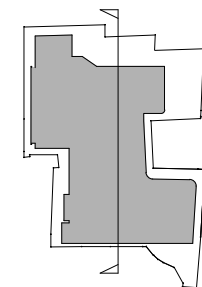
- ▽建物最高高さ
- ▽パラペット天端
- △RFL(水下=軒高)
- ▽12FL
- ▽11FL
- ▽10FL
- ▽9FL
- ▽8FL
- ▽7FL
- ▽6FL
- ▽5FL
- ▽ビットFL
- ▽4FL
- ▽3FL
- ▽2FL
- ▽1FL
- △△設計GL
- ▽B1FL
- ▽免震

46,950

▽隣地境界線



▽道路境界線

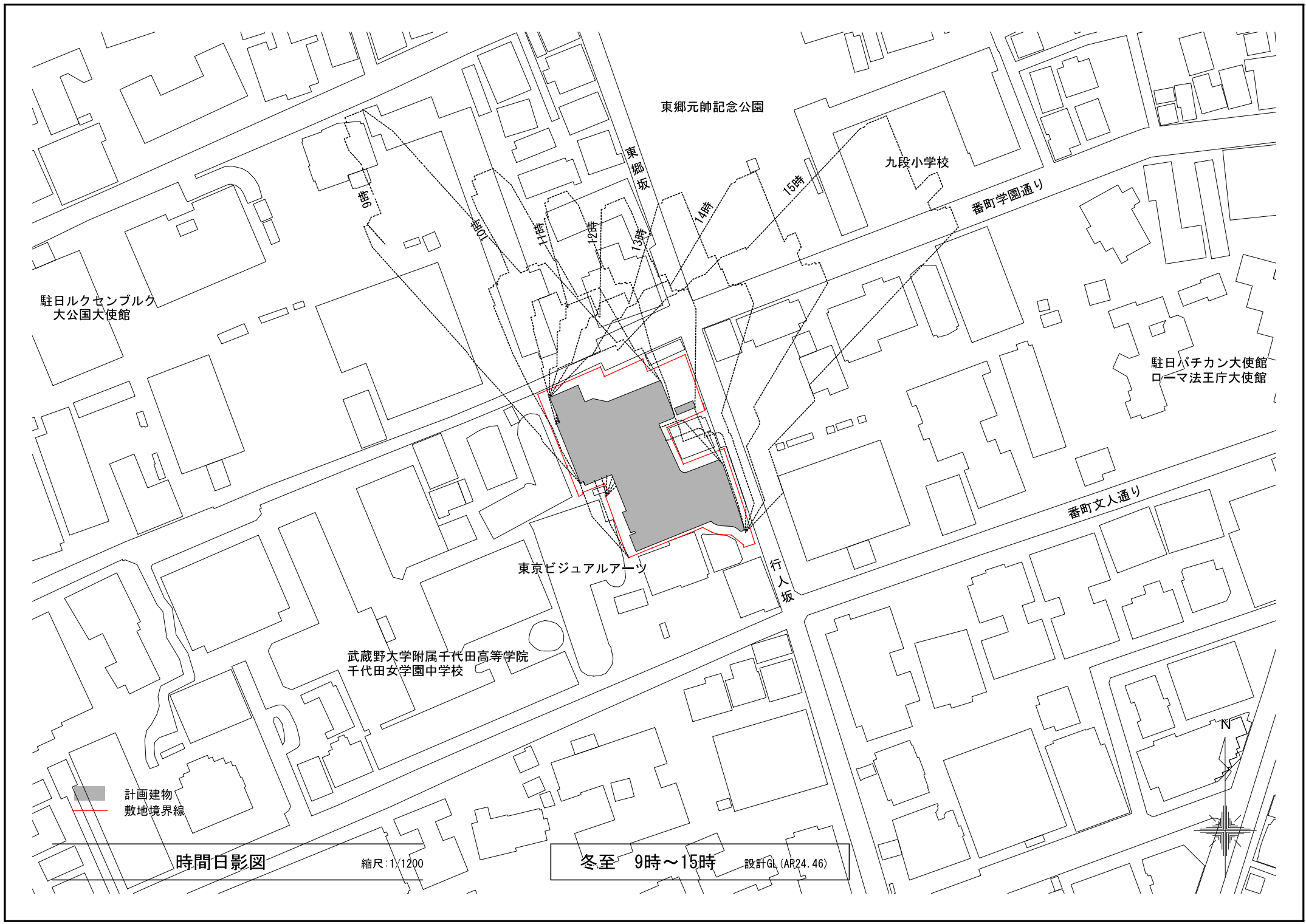


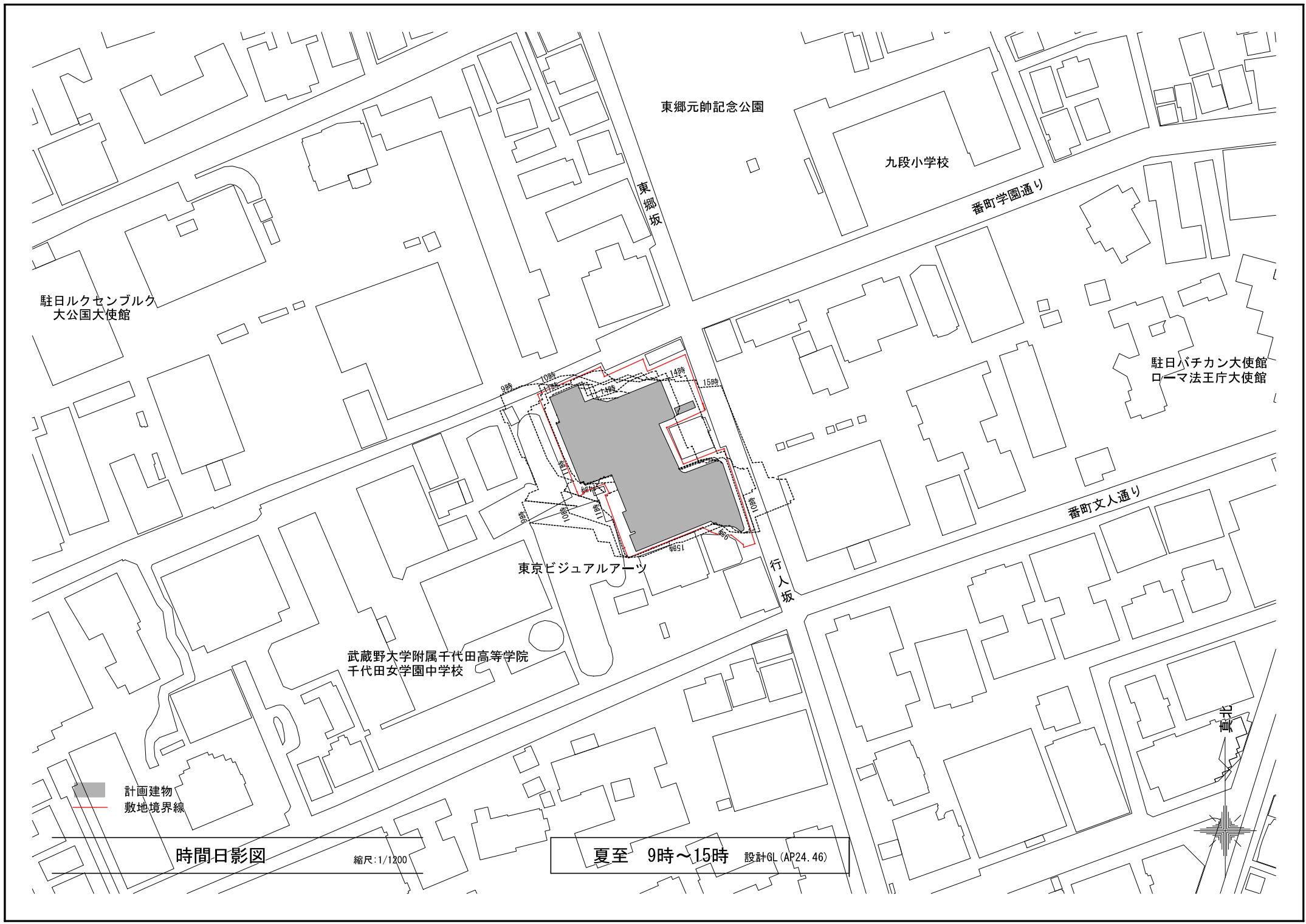
Key plan

4,400	8,300	8,400	5,250	5,250	5,250	5,250	5,250	4,850
52,200								

南北断面図 1/300

- 共用
- 備蓄倉庫
- 図書館
- 保育園
- 児童館
- 集会室
- 区営住宅+住宅共用
- 職員住宅





[illegible]

千代田区立中学校の学校選択状況

※過去4年間の選択状況

入学年度 学校名	令和2年度 (10月4日現在)	平成31年度 (10月16日現在)	平成30年度 (10月16日現在)	平成29年度 (10月21日現在)
麴町中学校 (入学後5/1)	350 名 名	295 名 (152 名)	256 名 (117 名)	251 名 (139 名)
神田一橋中学校 (入学後5/1)	49 名 名	100 名 (87 名)	68 名 (59 名)	66 名 (64 名)
計	399 名 名	395 名 (239 名)	324 名 (166 名)	317 名 (203 名)
申請書送付件数	520 名	473 名	421 名	402 名

令和2年度入学 学校選択申請書送付者数	520 名	
麴町中学校又は神田一橋中学校選択者数	399 名	76.7%
区立中学校就学意思なし(46名)又は未選択者数(0名)	46 名	8.8%
未回答数(75名)	75 名	14.4%

※今後、転出・転入等により人数に変動があります。

※学校選択申請状況を千代田区ホームページに掲載予定です。

令和元年度インフルエンザによる学級閉鎖の状況

令和元年10月10日現在

No	学校名	対象学年・組	臨時休業の種別	期 間
1	富士見小学校	3年1組	学級閉鎖	令和元年10月9日～10月11日
2	富士見小学校	4年2組	学級閉鎖	令和元年10月9日～10月11日

令和元年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果（東京都と千代田区の比較）

令和元年10月11日（金） 教育委員会資料 指導課

東京都		学年	参加囚数	身長（cm）		体重（kg）		握力（kg）		上体起こし（回）		長座体前屈（cm）		反復横とび（点）		持久走(秒)		20mｼｬｯﾄﾙﾗﾝ(回)		5 0 M走(秒)		立ち幅とび（cm）		ﾎﾞｰﾙ投げ(ｍ)		体力合計点	
				人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均
男子	小学校	1 年	50, 893	50, 572	116. 9	50, 580	21. 10	50, 727	8. 96	50, 541	11. 17	50, 690	25. 71	50, 605	26. 56			50, 492	17. 03	50, 668	11. 46	50, 679	112. 16	50, 715	7. 49	50, 171	29. 38
		2 年	50, 391	50, 068	122. 9	50, 059	23. 70	50, 199	10. 72	50, 028	14. 09	50, 170	27. 37	50, 071	30. 50			49, 966	26. 68	50, 149	10. 54	50, 117	123. 60	50, 177	10. 88	49, 631	36. 99
		3 年	50, 829	50, 462	128. 6	50, 454	26. 71	50, 620	12. 62	50, 349	16. 39	50, 520	29. 41	50, 407	34. 09			50, 288	34. 99	50, 419	10. 03	50, 478	134. 00	50, 536	14. 43	49, 765	43. 16
		4 年	50, 484	50, 247	133. 9	50, 244	30. 01	50, 286	14. 44	49, 956	18. 42	50, 176	31. 41	50, 045	38. 18			49, 906	42. 70	50, 088	9. 58	50, 118	142. 80	50, 151	17. 81	49, 318	48. 92
		5 年	49, 951	49, 682	139. 3	49, 658	33. 48	49, 750	16. 49	49, 458	20. 08	49, 624	33. 52	49, 519	41. 92			49, 330	49. 64	49, 495	9. 24	49, 538	151. 95	49, 593	21. 02	48, 761	54. 18
		6 年	49, 563	49, 276	145. 4	49, 265	37. 94	49, 333	19. 21	49, 028	21. 90	49, 182	35. 60	49, 066	44. 98			48, 823	56. 72	49, 044	8. 87	49, 123	162. 34	49, 163	24. 44	48, 227	59. 56
	中学校	1 年	38, 822	37, 666	153. 3	37, 570	43. 25	38, 296	23. 31	37, 585	24. 09	38, 081	38. 50	37, 755	49. 18	31, 072	433. 46	12, 609	67. 48	37, 448	8. 57	37, 884	178. 60	37, 472	17. 40	34, 213	32. 72
		2 年	36, 225	35, 328	160. 6	35, 181	48. 28	35, 703	28. 49	35, 078	27. 01	35, 456	42. 37	35, 168	52. 36	29, 757	390. 09	11, 448	80. 82	34, 762	7. 96	35, 188	194. 84	34, 959	20. 36	31, 943	40. 86
		3 年	37, 424	36, 671	166. 1	36, 524	53. 29	36, 912	33. 43	36, 350	29. 39	36, 740	45. 83	36, 471	55. 08	30, 903	377. 55	11, 773	89. 11	36, 254	7. 57	36, 544	209. 53	36, 409	22. 91	33, 658	47. 80
	高等学校	1 年	22, 166	21, 765	168. 87	21, 694	56. 89	22, 029	36. 83	21, 759	29. 54	21, 999	45. 99	21, 857	55. 9	15, 714	388. 13	6, 426	84. 89	21, 575	7. 49	21, 846	217. 85	21, 694	23. 23	20, 642	48. 97
		2 年	21, 792	21, 347	170. 38	21, 291	58. 92	21, 620	39. 24	21, 377	30. 57	21, 552	47. 75	21, 422	56. 97	15, 154	379. 65	6, 275	91. 45	21, 095	7. 32	21, 432	224. 54	21, 244	24. 43	20, 158	52. 36
		3 年	21, 205	20, 728	171. 15	20, 656	60. 67	20, 993	40. 76	20, 755	31. 40	20, 863	48. 97	20, 849	57. 73	14, 556	378. 54	6, 164	90. 74	20, 473	7. 25	20, 807	227. 53	20, 606	25. 54	19, 468	54. 24
千代田区		学年	参加囚数	身長□(cm)		体重□(kg)		握力□(kg)		上体起こし□(回)		長座体前屈□(cm)		反復横とび□(点)		持久走□(秒)		20mｼｬｯﾄﾙﾗﾝ□(回)		50m走□(秒)		立ち幅とび□(cm)		ﾎﾞｰﾙ投げ(ｍ)		体力合計点□(点)	
				区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区
男子	小学校	1 年	285	0. 53	117. 4	-0. 17	20. 93	-0. 01	8. 95	-0. 01	11. 16	-0. 75	24. 96	1. 78	28. 34		-	2. 08	19. 10	0. 08	11. 54	3. 94	116. 10	0. 16	7. 66	1. 19	30. 57
		2 年	245	0. 34	123. 2	0. 30	24. 00	0. 45	11. 16	-0. 24	13. 85	-0. 35	27. 02	1. 82	32. 32		-	1. 97	28. 65	-0. 02	10. 52	4. 99	128. 60	0. 89	11. 78	1. 01	38. 00
		3 年	255	0. 25	128. 8	0. 02	26. 73	0. 45	13. 08	-0. 19	16. 20	-1. 36	28. 05	1. 80	35. 89		-	4. 31	39. 30	0. 07	10. 09	1. 02	135. 02	0. 65	15. 08	0. 38	43. 54
		4 年	253	1. 41	135. 3	0. 71	30. 72	0. 55	15. 00	-0. 28	18. 14	0. 99	32. 40	2. 13	40. 31		-	2. 08	44. 78	-0. 09	9. 49	3. 59	146. 39	0. 47	18. 29	1. 27	50. 19
		5 年	241	0. 57	139. 9	0. 56	34. 04	0. 65	17. 14	0. 14	20. 22	-0. 51	33. 00	1. 60	43. 52		-	5. 32	54. 97	-0. 08	9. 17	3. 00	154. 95	1. 85	22. 87	1. 59	55. 77
		6 年	258	-0. 17	145. 3	-0. 64	37. 30	0. 34	19. 55	0. 23	22. 13	-0. 81	34. 80	1. 48	46. 46		-	3. 55	60. 27	0. 00	8. 87	3. 54	165. 88	0. 68	25. 12	1. 01	60. 57
	中学校	1 年	207	1. 08	154. 3	0. 66	43. 91	-1. 85	21. 46	-0. 85	23. 24	0. 09	38. 59	0. 32	49. 50	8. 12	441. 58	5. 88	73. 36	0. 02	8. 59	3. 67	182. 27	0. 36	17. 76	-0. 47	32. 25
		2 年	153	1. 13	161. 8	1. 67	49. 95	-0. 11	28. 38	0. 37	27. 38	3. 97	46. 34	0. 87	53. 23	8. 51	398. 60	15. 44	96. 26	-0. 06	7. 90	10. 01	204. 85	0. 19	20. 55	1. 97	42. 83
		3 年	183	1. 51	167. 6	0. 54	53. 83	-0. 84	32. 59	-0. 06	29. 33	2. 19	48. 02	0. 77	55. 85	7. 03	384. 58	11. 92	101. 03	-0. 06	7. 51	11. 75	221. 28	0. 46	23. 37	1. 01	48. 81
	高等学校	1 年	73	-0. 47	168. 4	-0. 89	56. 00	-4. 43	32. 40	1. 66	31. 20	7. 51	53. 50	1. 60	57. 50	-10. 13	378. 00		-	0. 01	7. 50	10. 95	228. 80	-0. 43	22. 80	1. 83	50. 80
		2 年	73	1. 32	171. 7	0. 88	59. 80	-1. 04	38. 20	2. 63	33. 20	10. 15	57. 90	1. 13	58. 10	9. 65	389. 30		-	-0. 02	7. 30	14. 36	238. 90	-0. 23	24. 20	3. 24	55. 60
		3 年	71	0. 65	171. 8	-0. 37	60. 30	-1. 56	39. 20	-1. 00	30. 40	8. 23	57. 20	2. 07	59. 80	0. 86	379. 40		-	-0. 05	7. 20	6. 97	234. 50	-1. 14	24. 40	2. 46	56. 70

令和元年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果（東京都と千代田区の比較）

令和元年10月11日（金） 教育委員会資料 指導課

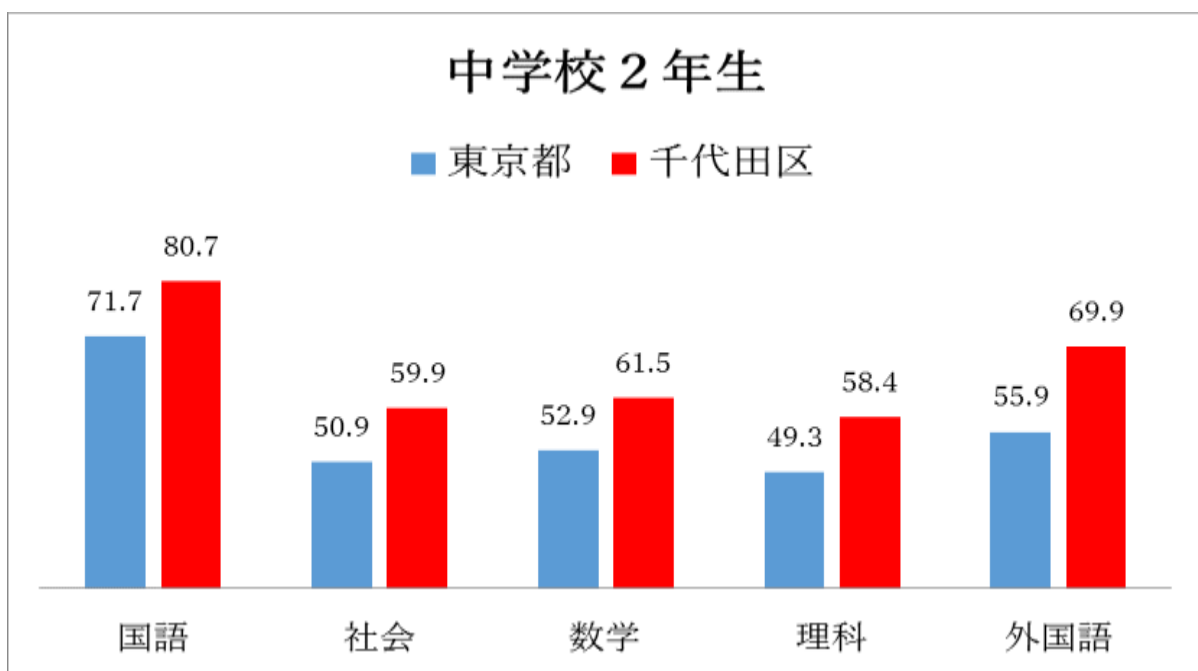
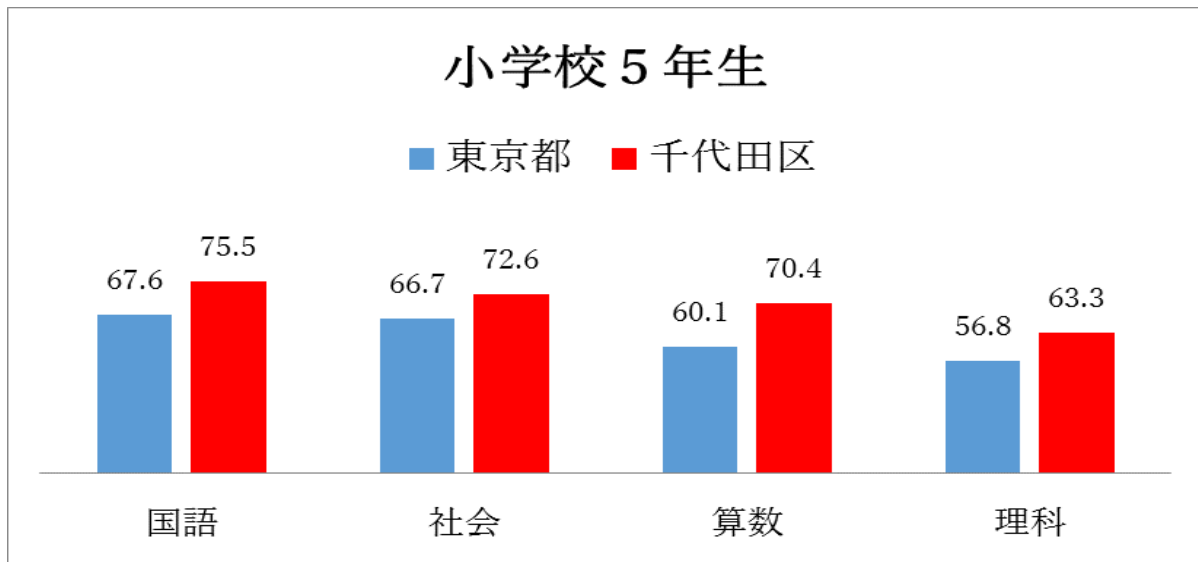
東京都		学年	参加人数	身長（cm）		体重（kg）		握力（kg）		上体起こし（回）		長座体前屈（cm）		反復横とび（点）		持久走(秒)		20mｼｬｯﾄﾙﾗﾝ(回)		50M走(秒)		立ち幅とび（cm）		ﾎﾞｰﾙ投げ(m)		体力合計点	
				人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均
女子	小学校	1年	48,058	47,790	115.84	47,795	20.66	47,950	8.40	47,793	10.86	47,926	28.23	47,861	25.60			47,762	13.98	47,871	11.84	47,878	104.46	47,920	5.17	47,466	29.28
		2年	47,254	46,971	121.82	46,964	23.21	47,137	10.09	46,981	13.68	47,110	30.49	47,025	29.21			46,921	20.27	47,055	10.90	47,062	115.78	47,096	6.91	46,646	37.17
		3年	47,465	47,155	127.66	47,153	26.10	47,324	11.86	47,134	15.83	47,266	33.15	47,187	32.31			47,068	25.83	47,145	10.37	47,230	126.17	47,247	8.83	46,654	43.62
		4年	47,364	47,192	133.64	47,200	29.37	47,239	13.69	47,022	17.89	47,161	35.52	47,082	36.58			46,955	32.45	47,069	9.89	47,108	135.94	47,121	10.82	46,535	49.99
		5年	47,004	46,830	140.35	46,807	33.63	46,888	16.13	46,680	19.35	46,809	38.15	46,707	40.32			46,536	39.16	46,659	9.50	46,741	145.82	46,785	12.80	46,145	55.89
		6年	46,549	46,345	147.05	46,330	38.50	46,410	19.12	46,146	20.65	46,302	41.07	46,173	42.98			45,978	44.85	46,143	9.13	46,219	154.42	46,278	14.59	45,541	61.14
	中学校	1年	36,023	35,349	152.40	35,100	43.10	35,722	21.55	35,267	21.90	35,581	43.03	35,372	46.16	29,591	306.77	11,578	51.35	35,141	9.06	35,400	165.16	35,285	11.10	33,028	44.25
		2年	33,747	33,272	155.39	33,024	46.60	33,410	23.57	32,947	24.11	33,279	45.42	32,973	47.47	27,943	288.93	10,536	57.47	32,649	8.77	32,960	169.81	32,910	12.63	30,547	49.56
		3年	34,992	34,509	157.01	34,102	49.19	34,662	24.78	34,209	25.26	34,558	47.18	34,210	48.09	28,969	289.94	10,612	57.32	33,950	8.69	34,278	171.42	34,264	13.52	31,887	51.74
	高等学校	1年	21,418	21,182	157.68	20,983	50.50	21,318	25.35	21,136	24.46	21,282	46.97	21,184	49.09	14,998	303.72	6,730	52.83	20,997	8.83	21,192	174.00	21,228	13.42	20,255	51.12
		2年	20,760	20,405	158.05	20,140	51.22	20,622	25.89	20,410	24.47	20,574	47.61	20,411	48.91	14,290	304.34	6,142	54.81	20,301	8.83	20,439	174.14	20,477	13.67	19,542	51.52
		3年	21,113	20,794	158.42	20,561	51.68	20,965	26.32	20,756	24.51	20,924	48.06	20,752	48.92	14,740	306.90	6,065	53.53	20,556	8.86	20,813	173.84	20,781	13.90	19,822	51.67
千代田区		学年	参加囚数	身長□(cm)		体重□(kg)		握力□(kg)		上体起こし□(回)		長座体前屈□(cm)		反復横とび□(点)		持久走□(秒)		20mｼｬｯﾄﾙﾗﾝ□(回)		50m走□(秒)		立ち幅とび□(cm)		ﾎﾞｰﾙ投げ(m)		体力合計点□(点)	
				区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区	区－都	区
女子	小学校	1年	278	0.47	116.32	-0.06	20.61	0.09	8.49	-0.05	10.81	-0.53	27.70	2.29	27.89		-	1.08	15.06	0.00	11.84	5.08	109.54	0.32	5.49	1.35	30.63
		2年	220	0.35	122.17	0.01	23.22	0.29	10.38	-0.60	13.08	-0.39	30.10	1.95	31.16		-	2.09	22.36	-0.17	10.73	4.54	120.32	0.52	7.44	1.58	38.75
		3年	218	0.16	127.83	-0.32	25.78	0.32	12.18	-0.07	15.76	-0.75	32.40	2.81	35.12		-	3.99	29.82	0.02	10.39	2.81	128.98	-0.16	8.67	1.10	44.72
		4年	241	0.17	133.81	-0.42	28.95	-0.36	13.33	-0.02	17.87	0.08	35.60	2.00	38.58		-	3.99	36.44	-0.12	9.77	2.92	138.85	-0.18	10.64	1.26	51.25
		5年	235	0.70	141.05	-0.03	33.60	0.33	16.45	0.52	19.87	0.15	38.30	2.07	42.39		-	2.47	41.63	-0.04	9.46	3.76	149.58	-0.56	12.24	1.42	57.31
		6年	207	-0.18	146.86	-0.99	37.50	-0.17	18.95	-0.91	19.74	-2.07	39.00	1.11	44.09		-	0.04	44.90	0.07	9.21	1.67	156.09	-1.28	13.32	-0.86	60.28
	中学校	1年	180	0.85	153.25	0.66	43.76	-0.62	20.93	-0.65	21.25	1.81	44.84	0.56	46.72	-0.27	306.50	13.29	64.64	-0.03	9.02	7.17	172.33	0.31	11.41	1.22	45.46
		2年	171	0.83	156.22	0.05	46.66	-2.16	21.42	-0.61	23.50	1.76	47.18	0.16	47.63	3.53	292.46	9.04	66.51	-0.13	8.63	5.81	175.62	-0.49	12.14	-0.47	49.09
		3年	173	0.65	157.66	-0.14	49.05	-1.10	23.68	-0.90	24.36	2.16	49.34	1.41	49.50	4.54	294.48	6.91	64.23	-0.21	8.48	9.66	181.08	-0.25	13.27	1.17	52.92
	高等学校	1年	73	1.30	158.98	-0.59	49.91	-1.74	23.60	2.59	27.05	6.07	53.04	0.89	49.99	-16.48	287.24		-	-0.14	8.69	12.92	186.92	-0.21	13.22	3.89	55.01
		2年	78	0.05	158.10	-0.43	50.79	-1.75	24.14	5.76	30.23	5.76	53.37	2.15	51.06	-11.06	293.29		-	-0.19	8.64	10.67	184.80	-0.10	13.57	4.06	55.58
		3年	72	-0.79	157.64	-0.85	50.84	-0.76	25.56	0.95	25.46	9.90	57.96	2.29	51.21	-15.61	291.29		-	-0.14	8.72	10.14	183.99	-0.36	13.54	5.10	56.76

令和元年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査

- 1 実 施 日 令和元年 7 月 4 日（木）
2 対象学年 小学校第 5 学年在籍児童 国語・社会・算数・理科
中学校第 2 学年在籍生徒 国語・社会・数学・理科・外国語

※数値は平均正答率（％）

※東京都の値は速報値の平均正答率



教育委員会行事予定表

月	日	曜	時刻	備考 (実施日等)	行 事 (事 業 名)	場 所 等	出席者等
10	11	金	13:00～ 14:00～ 15:30～ 16:15～		よちよちタイム特別講座「ママ＆ベビーヨガ」 ヘッドマッサージ ちよだ絵本の会 教育委員会	一番町児童館 あい・ぽーと麴町 西神田児童センター 教育委員会室	教育委員出席
10	12	土	14:30～		九段コズミック②	九段中等教育学校	
10	13	日	9:00～ 9:00～		日曜開放 学校説明会②	一番町児童館 九段中等教育学校	
10	14	月					
10	15	火	11:00～ 13:00～		なかよしタイム（運動会） パン教室	一番町児童館 あい・ぽーと麴町	
10	16	水	10:45～ 14:00～ 10:45～ 14:00～		よちよちタイム（ふれあい体操） 婦恋自然体験交流教室③ 小学生タイムスペシャル よちよちタイム（ベビーマッサージ） おやこdeえいご	四番町児童館 群馬県婦恋村 西神田児童センター 神田児童館 あい・ぽーと麴町	
10	17	木	10:00～ 10:30～		ふれあい体操 リトミッククラブ	あい・ぽーと麴町 西神田児童センター	
10	18	金					
10	19	土	10:00～ 16:45～ 10:00～		おもちゃの病院 天体観望会⑥ ふれあいフェスタ	あい・ぽーと麴町 九段中等教育学校 あい・ぽーと麴町	
10	20	日	9:00～ 9:30～		日曜開放 区民体育大会	神田児童館 外堀公園グラウンド	教育委員招待
10	21	月	10:00～ 10:30～		リトミック（2クラス） 指導課訪問 リフレッシュダンス③	あい・ぽーと麴町 富士見小学校 神田児童館	教育委員出席
10	22	火					
10	23	水	10:45～ 11:00～ 13:10～ 14:00～ 14:00～ 15:00～		よちよちタイム（ベビーマッサージ） よみきかせ 道徳授業地区公開講座 小学生タイムスペシャル 親子＆キッズバレエ（3クラス） 教育委員会	四番町児童館 あい・ぽーと麴町 九段中等教育学校 西神田児童センター あい・ぽーと麴町 教育委員会室（区役所）	教育委員出席
10	24	木					
10	25	金	9:00～		青少年対策地区委員会4地区合同施設見学会	本所防災館	
10	26	土	12:00～ 9:00～ 13:30～ 15:00～		こどもまつり 2019 いずみ学童クラブ親子遠足 第14回ちよだ文学賞授賞式 小さなお茶会	富士見わんぱくひろば 未定 住友商事神保町ビル 西神田児童センター	教育委員招待

教育委員会行事予定表

月	日	曜	時刻	備考 (実施日等)	行 事 (事 業 名)	場 所 等	出席者等
10	27	日	10:00～		ポニー乗馬会 (①10時～ ②13時～) ※雨天中止	麴町小学校校庭	
10	28	月	10:00～		親子ヨガ 指導課訪問	あい・ぽーと麴町 お茶の水小学校	教育委員出席
10	29	火	11:00～ 13:30～		なかよしタイム (親子リズム講座) 藍カフェライブ	一番町児童館 あい・ぽーと麴町	
10	30	水	10:45～ 14:00～		よちよちタイム (親子リズム) 小学生タイムスペシャル 指導課訪問	四番町児童館 西神田児童センター 麴町小学校	教育委員出席
10	31	木	10:45～		なかよしタイム (親子リトミック)	四番町児童館	
11	1	金			海外研修旅行 (～11月8日)	オーストラリア連邦ブリスベン市 (九段中等教育学校)	
11	2	土	11:00～		よんぱんちょうじどうかんまつり	四番町児童館	
11	3	日			千代田区立中学校生徒海外交流教育受入 (～11月11日)	麴町中学校・神田一橋中学校他	
11	4	月					
11	5	火	10:15～ 16:00～		親子体操 千代田区立中学校生徒海外交流教育 歓迎レセプション	西神田児童センター 区民ホール	教育委員出席
11	6	水	10:00～ 14:00～		校園長会 おやこdeえいご	教育委員会室 あい・ぽーと麴町	
11	7	木	10:00～ 10:00～ 10:30～ 11:00～		幼児クラブ「秋の合同遠足」 ふれあい体操 リトミッククラブ よちよちタイム (ベビーマッサージ)	富士見わんぱくひろば あい・ぽーと麴町 西神田児童センター 一番町児童館	
11	8	金	9:45～ 14:00～ 15:30～		骨盤矯正 ヘッドマッサージ ちよだ絵本の会	西神田児童センター あい・ぽーと麴町 西神田児童センター	
11	9	土	13:00～ 9:00～ 13:30～		いちばんちょうまつり 保育園開設説明会 保育園開設説明会	一番町児童館 401会議室 401会議室	未就学児の保護者など 未就学児の保護者など
11	10	日	7:45～ 9:00～		第3回ひがた探検隊 日曜開放	千葉県木更津市 四番町児童館	
11	11	月	10:00～		親子ヨガ	あい・ぽーと麴町	
11	12	火	15:00～ 18:30～		教育委員会定例会 青少年委員会第7回定例会	教育委員会室 (区役所) 401会議室	教育委員出席
11	13	水	14:10～ 10:45～ 11:00～ 14:00～		薬物乱用防止教室 指導課訪問 よちよちタイム (親子ヨガ) よみきかせ 親子&キッズバレエ (3クラス)	九段中等教育学校 千代田幼稚園 四番町児童館 あい・ぽーと麴町 あい・ぽーと麴町	教育委員出席
11	14	木	10:30～ 9:45～		リトミッククラブ 合同子ども会 指導課訪問	西神田児童センター 麴町学園 大築アリーナ 九段中等教育学校	教育委員出席 教育委員出席

「広報千代田」 10月20日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）18件

課	件名	事業の概略	とき	会場	主催者
			開催日・開催期間	住所は区立施設以外のみ記入	区以外が主催のとき
児童・家庭支援センター	(仮称)子どもケアプランのご案内	(仮称)子どもケアプラン・子育てカルテの作成、相談支援事業			
児童・家庭支援センター	子育てサポートが受けられる利用会員登録説明会	自宅へ子育て・家族支援者を派遣し、宿泊や病後児の保育なども行う、千代田子育てサポート事業の利用会員登録説明会	11月8日(金)10時30分～・11時30分	あい・ぽーと麹町(三番町7)	NPO法人 あい・ぽーとステーション
児童・家庭支援センター	親と子のプログラム ベビママの会	赤ちゃんとお母さんが参加できる初めての交流会	12月5日・12日(木)10時～12時	神田児童館	
児童・家庭支援センター	よんばんちょうじどうかんまつり	ゲームコーナーや手作りのショップ、レストランなどを行う	11月2日(土)①11時～12時(就学前の親子のみ)②13時～15時30分(どなたでも)	四番町児童館	
児童・家庭支援センター	クリスマスコンサートのお知らせ	クリスマスコンサートを開催。生演奏に合わせてクリスマスソングと一緒に歌う	12月7日(土)14時～14時45分	あい・ぽーと麹町	
学務課	区立小・中学校に入学を希望する外国籍の方へ	令和2年度小・中学校に入学希望の外国籍の方を対象として、相談を行う	(随時)		

「広報千代田」 10月20日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）18件

課	件名	事業の概略	とき	会場	主催者
			開催日・開催期間	住所は区立施設以外のみ記入	区以外が主催のとき
文化振興課	日本大学理工学部図書館公開講座	江戸から東京への430年間の、建築・都市空間のつながりについて解説	12月5日(木)18時～20時	日本大学理工学部(神田駿河台1-8-14)	日本大学理工学部図書館事務局
文化振興課	11月開催 タイトル未定昼休みコンサート	区民ホールで開催するお昼休みのコンサート	11月27日(水)12時～13時	区民ホール	
文化振興課	文化芸術の秋フェスティバル～芸能のつどいと作品展～	①芸能(詩吟やカンフー、ダンスなどの発表会) ②絵画・書道等の作品展	①11月17日(日)12時30分～②11月13日(水)～17日(日)	①日経ホール(大手町1-3-7)②九段生涯学習館	文化振興課
文化振興課	特別研究室企画展示 内田嘉吉文庫の地図書と紀行書から知る古書の世界	地理書や挿絵が豊富な紀行書を中心に内田嘉吉文庫の古書の魅力を紹介	10月22日(火・祝)～12月28日(土)	日比谷図書文化館	日比谷図書文化館
文化振興課	千代田区立図書館 クイズ&スタンプラリー	区立図書館5館を巡るクイズラリー。区立図書館3館を巡るスタンプラリーも同時に開催	10月25日(金)～11月17日(日)	千代田図書館ほか	千代田図書館
文化振興課	千代田図書館 情報探索講習会	千代田区立図書館の検索機能など、インターネットで本を探す方法を案内	11月28日(木)19時～20時30分	千代田図書館第1研修室	千代田図書館
生涯学習・スポーツ課	すぽすたちよだクラブ スタディ(文化学習)プログラム	クリスマスにもお正月にも使えるカラフルなしめ縄を、ドライフラワーを使って作る	11月29日(金)19時～20時30分	九段生涯学習館	九段生涯学習館

「広報千代田」 10月20日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）18件

課	件名	事業の概略	とき	会場	主催者	
			開催日・開催期間	住所は区立施設以外のみ記入	区以外が主催のとき	
14	生涯学習・スポーツ課	生涯学習団体1日公開講座　サークル体験会(11月)	九段生涯学習館などで活動する区民サークルが「サークル体験会」を開催	各サークルによって異なる	九段生涯学習館	九段生涯学習館
15	生涯学習・スポーツ課	区民スポーツ大会「ファミリーバレーボール大会」	中学生以上の区内在住者・在勤者を対象にファミリーバレーボール大会を開催する	12月1日(日)9時～	スポーツセンター	
16	生涯学習・スポーツ課	ウォーキングイン千代田	区内在住・在勤者を対象にウォーキング事業を開催する	11月3日(日・祝)集合9時、出発10時	(集合)区役所本庁舎→新国立競技場(解散)	千代田区体育協会
17	生涯学習・スポーツ課	卓球教室	中学生を除く15歳以上の方を対象に卓球教室を開催する①入門・初心者クラス②中級者クラス	12月2日～1月27日の毎週月曜(一部を除く全5回)①10時～12時②13時～15時	スポーツセンター	スポーツセンター
18	生涯学習・スポーツ課	ちよだ安心トイレ推進事業	東京2020大会に向け、区内のオフィスビルなどのトイレを施設関係者以外にも開放してもらう事業の周知など			

2019 年 10 月 10 日

報道機関御中

千代田区広報広聴課 千野

直通TEL 03-5211-4172

送付枚数 4 枚

以下の内容を別途メールでも送付します。よろしくお願いいたします。

～*～

千代田区

台風 19 号接近に伴う千代田区の対応について

～学校、保育園の休校等と自主避難所の開設～

千代田区は、過去にない規模での台風19号の接近・上陸に備え、区民等の安全管理を最優先と考え、以下のとおり区の施設等を閉鎖するとともに自主避難所の開設などの対策を実施します。

10月12日（土）区施設・事業の対応

詳細は別添一覧表のとおりです。なお、主な内容は以下のとおりです。

- 保育園（区立・私立・認証）、こども園（長時間保育）は休園。
- 区立学校（幼稚園、こども園含む）は休校。
- 児童館、学童クラブ（区立・私立）等は休館。
- 施設貸出しは中止。
- 区立施設は休館。
- ごみ・資源の収集は平常通り回収予定。

自主避難所の開設

自主避難所は、自宅で過ごすことを不安に感じた区民の方のための施設で、毛布などの簡易寝具と災害用の備蓄食料・飲料水を準備します。

ただし、台風が接近し風雨が強まった時間帯・夜間の自主避難は、転倒等の事故につながる恐れがあるため、天気予報等をよく確認し早めに避難してください。

日時：令和元年10月11日（金曜日）15時から

場所：千代田区役所1階区民ホール（九段南1-2-1）

警戒態勢

- 区は、11日から通常の情報連絡態勢に加え、万全の態勢をとるため、拡大措置をとります。
 - ・ 災害対策・危機管理課、道路公園課の庁内待機、全出張所、広報広聴課、清掃事務所による情報連絡態勢をとります。
 - ・ 自主避難所に職員（災害対策・危機管理課職員）を配置します。

- 道路公園課では、11日からパトロールにおいて道路の雨水桟・排水溝の状況など点検、清掃など必要に応じて対処します。台風接近時もパトロールし、街路樹の倒木、道路冠水など状況に応じて対処します。
- 警戒勤務職員及び職員住宅居住職員の当番班を11日から待機させます。
- 11日から安全・安心パトロールにおいて、注意喚起のチラシ配布及びスピーカーによる周知を行います。
- 避難勧告等が必要と判断された場合には、区民への周知は、防災行政無線、安全・安心メール、ホームページ、緊急情報等を使用します。

注意喚起

区内教育施設、福祉施設、町会・商店街、マンション等へ施設の安全対策に関する注意喚起を文書で実施しています。

【内容】

- 屋上・ベランダ等に置いてある落下しやすい物品(植木鉢)等を室内に取り入れる
- 排水口の落ち葉等を取除く
- 屋外に設置してあるごみ箱・たて看板等を室内に取り入れる
- 強風により扉等が開いてしまうおそれがあるため、施錠を確認する
- その他、各種安全対策

【その他】

- 工事中のビル施行者等に対しては、飛散・落下物に対する安全配慮について直接注意喚起します。
- その他、強風への備えなどホームページなどで呼びかけます。

土のうの事前配布

土のうが必要な区民及び区内事業者に対して、土のうを配布しています。必要な方は、下記連絡先に電話のうえ、千代田区土木事務所まで受け取りに来てください。

連絡先：千代田区環境まちづくり部道路公園課

維持係 03-5211-4243

土木事務所 03-5211-3646

場所：千代田区土木事務所（一ツ橋2-1-1）

注意：必要な方は風雨が強まる前に受け取りに来てください。

ブルーシートの貸し出し

区内各出張所において、ブルーシートやトラロープを貸し出しています。必要な方は各出張所まで受け取りに来てください。